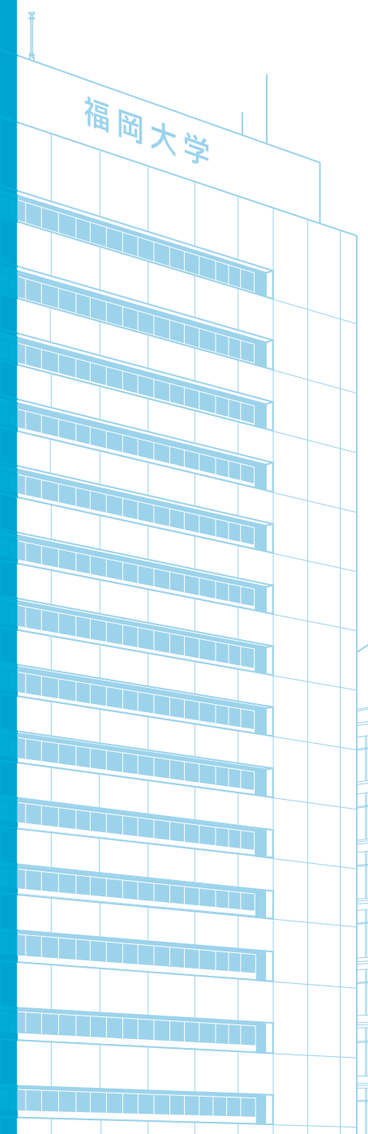
人文学部

Faculty of Humanities

- 文化学科
- 歴史学科
- 日本語日本文学科
- 教育・臨床心理学科
- 英語学科
- ドイツ語学科
- フランス語学科
- 東アジア地域言語学科

福岡大学

学部ガイド2026



FUKUOKA UNIVERSITY

FACULTY GUIDEBOOK

FUKUOKA UNIVERSITY

入学センター

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号

TEL：092-871-6631（代）

人文学部ウェブサイト

キャンパスマップ

Understanding Humanity

人間・文化・世界・自身…。
こだわり、好み、趣味。
長い人生の4年間、
そんなことを突きつめる時間があっていい。

人間の知は膨大な文化遺産
次の百年　この遺産をいかに生かすか
この遺産に問いかけてみよう
偉大な遺産はきっと答えてくれる
それは喜ばしい知
汲み尽くせぬほど深く
心に触れる知

※本冊子に掲載している人物の情報は、2024年度取材時のものです。

学部長メッセージ

人間を多様な視点から理解する

人文学部長　**関口 浩喜** SEKIGUCHI Hiroki

人文学とは、Humanitiesという英語が示すように「人間に関するさまざまな学問」という意味です。人間に関するさまざまな学問、それが人文学であり、それを学べるのが人文学部なのです。

人文学部は、文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、そして東アジア地域言語学科という、多様な8つの学科から構成されています。これら8学科に共通しているのは、〈人間への関心〉です。人文学部の8学科は「人間とは何か」という問いに、多様な視点からアプローチしています。各学科の紹介文章を読んでみてください。そこに必ずあなたの関心と一致する学科があるでしょう。

人文学部では「演習（ゼミナール）」と呼ばれる少人数科目が数多く開かれています。演習に参加することによって、専門的な知識を深めるだけではなく、自分の意見を明確に述べる力、相手の主張に耳を傾け理解する力を着実に格段に伸ばすことができます。このような力こそ、現代社会において求められている「コミュニケーション能力」に他なりません。人文学部の4年間で培ったコミュニケーション能力は、あなたが卒業後に社会で活躍するための基盤となります。

「受験勉強」が終われば、自分で思いのままに学ぶことができる自由な4年間という時間が待っています。皆さんと福岡大学人文学部で会えることを心待ちにしています。

目次

学部長メッセージ …… 01
学科紹介 …… 02
　文化学科 …… 04
　歴史学科 …… 10
　日本語日本文学科 …… 16
　教育・臨床心理学科 …… 22
　英語学科 …… 28
　ドイツ語学科 …… 34
　フランス語学科 …… 40
　東アジア地域言語学科 …… 46
各種課程教育情報・主な就職先 …… 52

▶ 個々の興味・関心に応じる、多様な学科構成

人文学部は、8学科で構成されています。その分野は、他の大学でいえば、文学部・外国語学部・教育学部などで扱う学問領域に当たります。特定の学科に所属して専門分野を学びながら、関連教育科目として他学科の授業が受けられるので、人文科学の幅広い研究分野に接することができます。

▶ 幅広い教養の修得（共通教育と専門教育のくさび）

人文学部は、学問の基幹となる分野を扱う学科から構成されています。そして、ゼミナールや卒業論文などの少人数教育によって専門分野について知見を深めていきます。しかし、その学問の基礎を確かなものにするには、人文科学以外の社会科学・自然科学などの諸領域の知見も欠かせません。

▶ 教育・航空業界をはじめ、多方面への就職を支援

人文学部では、大学全体の就職・進路支援に加え、学生が早い時期からキャリア形成を意識できるよう、エアラインセミナー等の学部独自のセミナーを実施しています。また同窓会の主催による就職支援セミナーや各種講演会を実施しており、学生が学部教育を通して身につけた能力を、社会の各方面で発揮できるように、きめ細かな支援をしています。

▶ 海外研修・留学・国際交流

人文学部は、外国語教育を重視し、第二外国語を選択必修にしています。そして、外国語学習を支援する制度として、海外研修や留学制度をカリキュラムの中に取り入れています。学科の多さを反映して、研修や留学先も多彩です。

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー（AP）〈入学者受け入れの方針〉
- カリキュラム・ポリシー（CP）〈教育課程編成・実施の方針〉
- ディプロマ・ポリシー（DP）〈学位授与の方針〉

人文学部の詳細は以下のQRコードから（公式ウェブサイト）

▼AP　▼CP　▼DP

学科内部のしくみ一覧

文化学科 Department of Culture

1年次	2／3／4年次
基礎教育	専門教育

- 哲学・倫理学
- 宗教学
- 芸術学・美術史
- 社会学
- 心理学
- 地理学
- 文化人類学・民俗学

詳細は 04-09 ページへ

歴史学科 Department of History

1年次	2／3／4年次
基礎教育	専門教育

- 日本史
- 東洋史
- 西洋史
- 考古学

詳細は 10-15 ページへ

日本語日本文学科 Department of Japanese Language and Literature

1年次	2／3／4年次
基礎教育	専門教育

- 日本語学
- 日本文学
- 比較文学

詳細は 16-21 ページへ

教育・臨床心理学科 Department of Education and Clinical Psychology

1年次	2／3／4年次
基礎教育	専門教育

- 公認心理師トラック
- キャリアデザイントラック
- 学校教員トラック

詳細は 22-27 ページへ

英語学科 Department of English

1年次	2／3／4年次
基礎教育	専門教育

- 文化・文学科目群
- 英語・英語教育科目群
- グローバル・コミュニケーション科目群
- グローバル・キャリア科目群

詳細は 28-33 ページへ

ドイツ語学科 Department of German

	1年次	2／3／4年次
ドイツ語圏コース	基礎教育	専門教育
ヨーロッパ特別コース	基礎教育（フランス語学科と一部共同授業）	専門教育（フランス語学科と一部共同授業）

詳細は 34-39 ページへ

フランス語学科 Department of French

	1年次	2／3／4年次
フランス語圏コース	基礎教育	専門教育
ヨーロッパ特別コース	基礎教育（ドイツ語学科と一部共同授業）	専門教育（ドイツ語学科と一部共同授業）

詳細は 40-45 ページへ

東アジア地域言語学科 Department of East Asian Studies

1年次	2／3／4年次
基礎教育	専門教育

- 中国コース
- 韓国コース

詳細は 46-51 ページへ

文化学科

Department of Culture

文化の総合的・多角的理解！「哲学・倫理学」「宗教学」「芸術学・美術史」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学・民俗学」。これら7領域を横断的に学びながら、現代社会が抱える課題の解決力を養う。

文化学科では、多様な価値観が共存する現代で活躍するための、広い視野と柔軟な発想力を併せもつ人材を育成します。祭りや儀礼、寺社仏閣、東西の思想、日本や海外の生活様式・都市デザイン、あるいは絵画や映画、アニメにマンガなどの「文化」、その「文化」を育む土壌である「社会」の構造やあるべき姿、そして、その「社会」で生きる「人間」の心のメカニズムや生きる意味に関心を持つあなたを、文化学科は待っています。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、文化の多様性を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明できる人
C	態度・志向性	本学科で学べる多様な文化の興味深さと有用性を理解し、その過程で得る知識や技能を社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽によって英語の資格を取得した人やスポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

文化学科での4年間

1年次　基礎教育

基礎演習Ⅰ,Ⅱ

レポートの書き方、議論の仕方など、大学での学習方法を身に付ける。

文化学科で学ぶⅠ,Ⅱ

学科全教員の講義を経験し、幅広い学問領域の考え方や視点の基礎を身に付ける。

→

2／3／4年次　専門教育・卒業論文・就職

文化学演習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ,Ⅵ

「哲学・倫理学」「宗教学」「芸術学・美術史」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学・民俗学」の7つの学問領域を専門とする教員のゼミから、自分に合ったテーマを選択。指導教員のきめ細かなサポートを受け、研究に取り組む。その集大成を「卒業論文」にまとめる。

多彩な選択科目で、「深く」も「広く」も自由自在

専門教育を「思想文化」「社会文化」「文化学共通」の3つの科目群から選択し、自分だけのカリキュラムを構成。人間・社会・文化に関する総合的・多角的かつ専門的な知識と視点を培う。

→

卒業後

固定観念にとらわれない幅広い視野と柔軟な発想力を持つ人へ

専門教育科目カリキュラム ›　学科公式ウェブサイト ›

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 博物館学芸員
- 社会教育主事
- 日本語教員
- 宗教文化士

在学生の声

3年次生　池田 琴美 さん

（佐賀県 唐津東高校出身）

知的好奇心を刺激される環境で文化を学び幅広い興味の対象を追究できる。

Q1 この学科の魅力は？

芸術学や文化人類学、地理学など文化についての学問領域が広く、好奇心に応じて学問の壁を越えた学びと議論が行える環境が魅力です。苦手意識がある学問でも、学んでいくうちに新しい発見があり、興味の幅が広がります。また、学問どうしのつながりを感じる面白さもあり、知識が深まるだけでなく、視野が広がり心もより豊かになります。

Q2 好きな授業は？

日常の心の動きを明らかにする「社会心理学」です。本授業は心理学の中でも人間関係に注目し、友人関係や恋愛、攻撃行動、援助行動、メディアなどさまざまなテーマを取り扱います。心理学は、心という一見曖昧に思えるものをデータに基づいて科学的に検証できるところが魅力の一つだと感じます。学びを通じて、心理学がもっと好きになりました。

私の時間割（3年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00					
10:40	情報処理入門	中国の思想	社会心理学		
13:00	司法・犯罪心理学	人文地理学A	日本美術史	リスク社会論	文化学演習Ⅲ
14:40			感情・人格心理学		
16:20	中世ヨーロッパ哲学				国際センター特別授業「実践フランス語」

卒業生の声

文化にまつわる多様な学問を学習。横断的な学びが伝統芸能の継承活動を支えている。

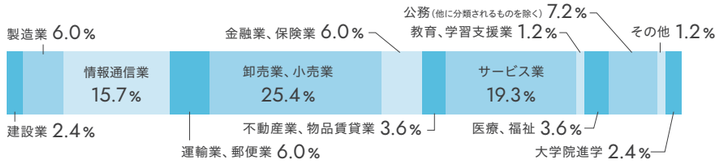
幼い頃から「筑紫舞（つくしまい）」という日本の伝統芸能を習っており、現在は主に海外で公演やワークショップをしたり、教室で舞を教えたりしています。公演の機会を得るためには、行動力とコミュニケーション能力は欠かせません。また、芸を磨くには舞台上の表現力や日本文化の理解度が重要です。

日本文化の理解に関しては本学科での学びが大いに生かされました。文化にまつわるさまざまな学問に触れ、さらにそこから関心のある分野を深めていくことが本学科の醍醐味だと思います。卒業論文では、「芸術学」で得た国内外の芸術の観点や「宗教学」で学んだ日本宗教の歴史的背景、「心理学」で知った統計方法を総合的に駆使して書き上げました。4年間を通して多角的な視点で国内外の文化を知ることができたので異文化理解が進み、筑紫舞の伝承活動に励むことができています。

亀井 南央 さん（2021年卒業）

伝統芸能伝承者

主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は 53ページ

在学生からのメッセージ

Department of Culture

ぶんかがっか

大学生活の中で自分の好きを見つけたいという人におすすめの学科です。今はまだ漠然としている将来像も、さまざまな学問に触れるなかできっと確かなものになるはずです！(3年次生)

あれもやりたい！これもやりたい！

文化学科には多様な学問分野について広く深く扱うための土壌が整っています。そのため、それぞれの分野で学んだ点が線になる瞬間があり、より本質的な学びを楽しめます。(2年次生)

文化学科の魅力は七つ以上の学問領域に開かれていることです。バラエティに富んだ学問を横断的に学ぶことで多様性に富んだ視野を養うことができます。(4年次生)

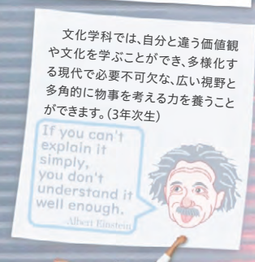
文化学科の魅力はさまざまな学問を幅広く学べることだと思います。加えて、先生方も個性豊かで気さくな方ばかりなのと、学生の人数があまり多くないので、ほとんどの人と仲良くなれます！(4年次生)

多様な学問を学べることが魅力です。「入学前は特別興味を持たなかった分野だけど、学んでみると意外と面白かった」といった出会いが生まれ、興味や知識の幅が広がります。(3年次生)

何色にでもなれる！それが文化学科です。今の興味関心を追究するもよし、新たに出会い視野を広げるもよし。みんな個性豊かだけれどどこか似ている。そんな魅力あふれるLCです。(4年次生)

「物事や言葉の、意味や本質、概念について無意識に考えてしまう人」「頭の中を言語化することが好きな人」は、文化学科の講義に知的好奇心を刺激されると思います！(3年次生)

文化学科では、自分と違う価値観や文化を学ぶことができ、多様化する現代で必要不可欠な、広い視野と多角的に物事を考える力を養うことができます。(3年次生)



文化学科の最大の魅力は、七つの領域の学問を学ぶ機会があり、既に学びたい分野が決まっている人も、そうでない人も、自分の可能性を見出すことができる点です。(2年次生)

文化学科の魅力は、さまざまな分野から得る新しい知識をもとに、前提を深めたりひっくり返したりすることだと思います。多くのあたりまえで成り立つ日々の生活が、少し楽しくなります。(2年次生)

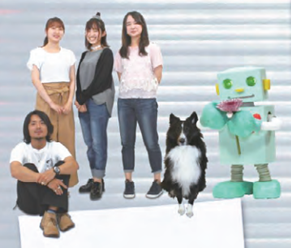
文化学科では身近な「文化」について多彩な学問からアプローチできるため、学びたいものが漠然としていても興味のある分野を幅広く学ぶことができます。(3年次生)

1番の魅力は学問分野が広いことです。「文化」をキーワードにしてさまざまな分野に触れることで、新たな気づきや学びを得ることができます。(3年次生)

文化学科では、自分の学びたい学問だけでなく、その他の文化に関わる多様な学問領域を幅広く学べる為、大学に入ってからもたくさんの選択肢があります。自分がまだ、将来何をやりたいかがはっきりしていない方にはおすすめの学科です。(2年次生)

幅広い分野から自分の興味を模索でき、文化を客観的・相対的にみる力を身に付けることができる学部です。異文化に触れることが好きな私にとって、文化学科で学んだことは大きく役に立っています。(4年次生)

七つの分野を専門的に学ぶことができるため、一つの分野が自分に合わなくても大丈夫！色々なことを学びたい人やこれから興味のある分野を探したい人におすすめの学科！とにかく優しい雰囲気の人が多いのも特徴。(4年次生)



幅広い分野を学ぶことができるのが魅力！その分自分の視野も広げることができ、新たな発見もあります。何を学びたいか正確には定まらず悩んでいるそこのあなた！個性豊かな先生方のもと一緒にキャンパスライフを楽しんでみませんか？(4年次生)

Department of Culture

魅力は自分の興味を好きなだけ探求できるところです。ここではさまざまな分野が学べるので、周りの人の興味も同じとは限らず、学びを深めやすい環境だと思います。(2年次生)

1年次で、文化学科で学べる幅広い分野をつまみ食いするように知ることができ、その興味に従って翌年から履修を組むことができます。(4年次生)

文化学科の良いところは一つの分野に縛られずに幅広い学問分野を学べることです。これまで自分が興味を持っていなかったものにも触れる機会があり、教養を深めることができます。(3年次生)

一つのことを突き詰めて学びたいと思った時、案外その周りを取り囲む、さまざまな要因についても学ぶ必要が出てきます。文化学科では「人」に関係するさまざまな科目を選択して学ぶことができるため、自分にフィットする学びの場が生まれると思います。また、「少し気になる」分野にも手を出しやすいことも文化学科の魅力の一つと言えると思います。文化学科内の友人も美術史、社会学、哲学と各自学びたいことが違うことが多く、友人を介して新しい学びを得ることもあります。(3年次生)

教員・研究の紹介

文化学科に所属している教員をご紹介いたします。 ※2025年4月1日現在

宗教学

岸根 敏幸 教授

専門分野
「神話学」「宗教学」
「仏教学」

研究テーマは「神話と宗教を中心とする思想文化研究」です。近年では特に日本の神話における諸問題を研究しています。

小笠原 史樹 准教授

専門分野
「中世哲学」「宗教哲学」

西洋の宗教について思想的・哲学的に研究しています。中世ヨーロッパのキリスト教を中心に、他の宗教や神話、文学や映画、日本の古典などにも研究を拡大中です。

芸術学・美術史

植野 健造 教授

専門分野
「芸術学」「美術史」
「博物館学」

日本近代美術史、特に黒田清輝、藤島武二らを中心とした白馬会系の画家たちと、青木繁、坂本繁二郎など筑後地方生まれの画家たちの研究に意を注いでいる。

落合 桃子 准教授

専門分野
「芸術学」「美術史」

ドイツを中心とする西洋の近現代美術史を専門としています。ヨーロッパと日本・アジアの文化交流史についても調査研究を進めています。

森 結 講師

専門分野
「芸術学」「美術史」

イタリア・ルネサンス期の美術、とりわけ壁画装飾を中心に研究しています。個々の芸術作品が、当時の社会とどのように結びついていたか、という視点から研究しています。

心理学

大上 渉 教授

専門分野
「犯罪心理学」「認知心理学」

テロや異物混入事件など、さまざまな犯罪について、犯人の個人的属性や犯罪行動に着目して系統的に分析し、その犯罪の構造や特徴を明らかにする研究に取り組んでいます。

縄田 健悟 准教授

専門分野
「社会心理学」「集団力学」
「組織心理学」

集団の光と影をテーマとしています。影の側面として集団暴力や集団間紛争、光の側面として組織におけるチームワークを研究しています。

古川 善也 講師

専門分野
「社会心理学」「感情心理学」

人の善悪に関連した心理や行動をテーマにしています。道徳や規範に反した際に生じる感情による行動の修正や道徳や規範を守ることに対する認知的正当化による影響を研究対象として扱っています。

柏原 志保 講師

専門分野
「認知心理学」「実験心理学」
「認知神経科学」

人間の認知、特に記憶のメカニズムに関心があります。行動実験だけでなく脳波計測も用いて、我々が物事を記憶したり処理したりする仕組みやその表現について研究しています。

文化人類学・民俗学

髙岡 弘幸 教授

専門分野
「民俗学」「文化人類学」

日本各地で怪異・妖怪に関する伝承の調査を行い、経済統計などでは明らかにできない、人びとの「生活実感」を明らかにしようと奮闘しています。

宮岡 真央子 教授

専門分野
「文化人類学」

東アジアにおける文化とエスニシティについて調査研究。特に台湾の先住民族を主対象とし、植民地経験・国民国家・人類学史との関係に主たる関心を持つ。

中村 亮 教授

専門分野
「文化人類学」

アフリカ(タンザニア、スーダン)と日本(福井県、千葉県)の沿岸部で、漁民文化、里海、資源管理、文化遺産、地域振興などをテーマに文化人類学研究をしている。

地理学

磯田 則彦 教授

専門分野
「人文地理学」「人口研究
(人口移動研究・人口問題研究)」

先進諸国および発展途上諸国の両社会について研究をしてきましたが、とりわけ、少子高齢化の進展による人口減少と各社会の人口政策に関心があります。

藤村 健一 准教授

専門分野
「宗教地理学」「文化地理学」
「歴史地理学」

これまで主に下記のテーマで研究をしてきました。／宗教分布／寺院と地域社会の関係の歴史的変化／宗教と自然環境の関係／宗教と観光の関係／信仰の場所としての世界遺産

近藤 祐磨 講師

専門分野
「地理学」「人文地理学」

松原と言われる日本の海岸マツ林を事例として、人間と自然の相互関係に関心があります。地域や空間を軸として、政治経済、社会、生態系について幅広く考えています。

社会学

平田 暢 教授

専門分野
「数理社会学」

環境問題などに見られる社会的行為の意図せざる結果や、投票など社会的決定の研究をしています。仮説の構築方法にも関心があります。

本多 康生 准教授

専門分野
「医療社会学」「災害社会学」
「社会問題論」

ケアや支援をキーワードに、社会学の立場から、東日本大震災・熊本地震など災害被災地の高齢者支援や民生委員活動、およびハンセン病問題の研究を行っています。

開田 奈穂美 講師

専門分野
「社会学」

地域開発等の事業が、ときに大規模な環境変化を介して地域社会のありかたに変化をもたらす側面に焦点をあてて、環境と地域社会がどうやって存続しつづけるのかについて研究しています。

哲学・倫理学

関口 浩喜 教授

専門分野
「哲学」

哲学が私の専門です。ウィトゲンシュタインという不思議な哲学者に魅せられ、いまは「言葉が意味を持つ」という、当たり前の事実に(哲学的な)関心を持っています。

林 誓雄 教授

専門分野
「倫理学」「近現代英米哲学」

18世紀スコットランドの哲学者デイヴィッド・ヒュームの思想を中心に、近現代の道徳哲学・倫理学を研究しています。

中村 未来 准教授

専門分野
「中国哲学(中国思想史)」
「日本漢学」

主に新出土文献(竹簡や帛書)を用いた中国古代思想史の研究を行っています。また、それらを受容した江戸期の日本漢学についても関心を持っています。

竹花 洋佑 准教授

専門分野
「哲学」「近代日本哲学」

日本における西洋哲学の受容という観点から、西田幾多郎・田辺元の哲学を中心とした近代日本哲学を研究している。また、歴史・文化の哲学的考察も行っている。

飯泉 佑介 准教授

専門分野
「哲学」「近代ドイツ哲学」

近代のドイツ哲学、特にヘーゲル哲学について理論的・歴史的観点から研究しています。哲学の方法論、哲学と歴史、メタ形而上学、絶対者と実存などのテーマに取り組んでいます。

大木 崇 准教授

専門分野
「古代ギリシア哲学」

古代ギリシア哲学、中でも特にアリストテレスの哲学を研究しています。また、さまざまなパラドックスにも関心があります。

文化学科Q&A

Q1 文化学科に入学したらどんな授業を受けることになるのでしょうか?

A1 文化学科でのあなたの4年間をおおよそ次のようにイメージしてみましょう。

ホップ
必修科目の履修を通じて、自分の関心や興味を発掘したり確認をする。

ステップ
選択科目群から選んでみよう。

＼ type1 ／
人間の思想や行動に興味がある人、生き方やライフスタイルに関心がある人
▶ 現代哲学、応用倫理学、宗教学特講、メディア文化論、などを中心に

＼ type2 ／
社会の仕組みや未来像に興味を持つ人、私たちが生活する都市や地域に関心がある人
▶ 応用社会学、社会心理学、都市地理学、社会学方法論演習、マス・コミュニケーション論、などを中心に

＼ type3 ／
自分たちとは異なる文化、さまざまな文化形態に関心がある人
▶ 民俗文化論、文化人類学特講、比較文化論、宗教文化論、西洋美術史、などを中心に

ジャンプ
卒業論文を書こう。

Q2 先輩たちはどんな卒業論文を書いたのでしょうか?

A2 過年度に提出された卒業論文のタイトルを下に挙げてみましょう。

type1 の人
- 恋愛の深層にあるもの ― 3つの欲求から見る自他関係の考察
- 漫画「ニセコイ」の登場人物はなぜポリアモリー関係に発展しないのか
- 人質立てこもり事件の失敗と成功の要因
- 組織における「感謝」の機能に関するポジティブ心理学的研究
- ギリシア神話におけるハデス像
- 化粧におけるジェンダー

type2 の人
- 日本人はなぜディズニーが好きなのか ― ディズニー化する消費の構造と機能
- 宝塚歌劇団はいかにして生き残ってきたか
- 名探偵はなぜ消える ― 推理小説の変遷と日本社会
- モータリゼーション時代における道の駅
- 私のつくられ方 ― 変わりゆく社会と家族のかたち

type3 の人
- ブータンに見る幸せのかたち
- 「マスク」の文化論
- 「カワイイ」の文化人類学 ― 「カワイイ」の構造と変容
- 妖怪からみるフォークロア ― 大分県臼杵市を舞台に
- ユタをとりまく沖縄の文化と社会
- シャガールとステンドグラス

Q3 卒業後の進路は?

A3 学科の性格上、卒業後の進路も多様です。具体的には、一般企業に就職する人、在学中に教員の資格を取得して中学・高校の先生になる人、学芸員の資格を取得して専門職を目指す人、公務員試験に合格して官公庁に勤める人、あるいはもっと専門的に学びたくて福岡大学や他大学の大学院に進学する人たちもいます。どのような道を歩むにせよ、大学での4年間の過ごし方が、卒業後の進路に大きく影響することは言うまでもありません。

人文学部

歴史学科

Department of History

ひとりひとりに向き合う細やかな指導。専門性の高い「考える歴史学」に取り組むことで、「過去」から「いま」の世界がみえてくる。

歴史学科で取り組むのは「考える歴史学」です。日本史では古文書を、東洋史では漢文を、西洋史では欧文を読み解き、考古学では出土遺物等を調査して、情報収集・分析を行ったうえで研究発表を繰り返し、最終的には卒業論文を執筆します。専門性の高い学びですが、段階的に組まれたカリキュラムと丁寧な指導が4年間を支えます。また、学生参加型の授業や学会との連携など、充実した教育・研究環境がもたらすメリットも多々あります。卒業後は培った情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、民間企業や公務員、教員など幅広い分野での活躍が期待されます。学芸員や研究者を目指して大学院に進学する人も増えています。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、歴史学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	問題点を発見し、それを他者に分かりやすく説明することが出来る人
C	態度・志向性	歴史学の高度な専門知識や幅広い教養をいかして社会で活躍したいと考えている人
D	その他の能力・資質	スポーツなどの課外活動で優秀な成績をおさめた人や、英語の資格を取得した人

求める人材像（求める能力）の詳細は

歴史学科での4年間

1年次　基礎教育

高校の「歴史学」から大学の「歴史学」へ

- **歴史学入門演習（ゼミ）**
  少人数ゼミでレジュメづくりや発表、レポート作成に取り組み、情報の収集・整理・発信の手法を学びます。
- **史学概論A・B**
  さまざまな専門分野を持つ歴史学科の教員の講義を通じて、歴史学に必要な基礎知識や学問的な考え方を身に付けます。
- **各概説科目**
  日本史・東洋史・西洋史・考古学に関する基本的な論点や知識を学びます。

→

2年次　専門教育

調査・研究の能力を高める専門教育

- **基礎演習（ゼミ）**
  日本史・東洋史・西洋史・考古学の中から専修を選択し、専門的な学習に取り組んでいきます。基礎演習では各専門分野の論文を読んで発表を繰り返し、読解力とプレゼンテーション能力を高めます。
- **原典講読・考古学方法論**
  原典講読では古文書や外国語文献の読み解き方を徹底的に学びます。考古学方法論では出土遺物や遺跡の調査方法について学びます。

→

3年次　専門教育

専門性を深め、自分の研究テーマを探究する

- **演習（ゼミ）**
  古文書や外国語文献を読み解き、研究課題をみつけてゼミ発表し、ディスカッションすることにより、課題発見能力や議論する能力を高めます。また、卒業論文の執筆に向けて自分の研究テーマを探し、深めていきます。
- **専修ごとの特講**
  日本史・東洋史・西洋史・考古学の特講科目では、歴史学科の教員が各分野における研究状況について講義し、最新の研究成果や研究手法などを学びます。

→

4年次　論文・就職

4年間の集大成卒業論文の執筆

これまで学んできた知識や研究手法をいかして調査・研究を進め、自分で設定した研究テーマに関する知見を卒業論文にまとめ、情報収集・分析能力と論理的な思考力を養います。

→

卒業後

4年間で培われた情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、広範囲なフィールドで活躍できる人材に。

高い専門性をいかし、教員や学芸員として活躍する卒業生も多い。

専門教育科目カリキュラム ›　学科公式ウェブサイト ›

取得可能な主な資格

- 中学校教諭一種免許（社会）
- 高等学校教諭一種免許（地歴・公民）
- 博物館学芸員
- 日本語教員

在学生の声

3年次生　方山 ことね さん

（福岡県 福岡大学附属若葉高校出身）

歴史的事象を視点と角度を変えて見ると点と点がつながり本質が浮かび上がってくる。

Q1 この学科の魅力は？

ただ暗記する歴史ではなく「考える歴史」を学べることです。ある事象をただ覚えるのではなく、なぜ起こったのか、他の事象にどう影響を与えたのかを深く追求し、歴史を一連の流れとして捉えることで新しい考え方や価値観に出合えます。本学科では日本史・東洋史・西洋史・考古学から専修を選択し、興味がある分野に浸りながら研究を深められます。

Q2 好きな授業は？

近世文書を用いてくずし字を読解する「日本史原典講読ⅡA」です。くずし字は江戸時代に使われていた文字で、授業では福岡藩の黒田家文書を一文ずつ読み、読み下しと現代語訳を発表します。最初は全く読めなかった文字が読めるようになるのは非常に楽しく、少しずつでも学びが身に付いていると感じます。

私の時間割（2年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00	生涯スポーツ論	ドイツ語ⅡA		地誌学A	
10:40	日本史原典講読ⅡA	インターミディエイト・イングリッシュⅠ	自然地理学A	インターミディエイト・イングリッシュⅢ	地域史概論
13:00	欧米各国史A		特別支援教育論	道徳教育論	教育制度論
14:40		人文地理学A	日本史基礎演習ⅠA		ドイツ語ⅡB
16:20			概説政治学	概説社会学	

卒業生の声

ゼミ発表やプレゼンは社会人になるための第一歩。歴史や先生との出会いで世界が広がった。

代理店への営業推進や勉強会、商品研修などを担当する「間接営業」と呼ばれる仕事を担当しています。協力先に商品を売ってもらうには、まずは自分の知識や情報を相手に分かりやすく伝える必要があります。この時、学生時代に取り組んだゼミ発表や企画プレゼンなど人前で発表した経験が役に立っていると実感します。「相手に理解してもらうにはどう伝えたらよいか」を考えながら資料を作り、発表の内容を組み立てることは現在の仕事に求められる最も大切な要素で、自分だけでなく協力先の実績にも直結します。

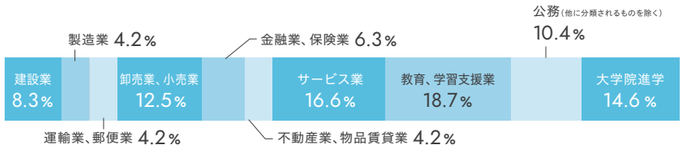
本学科で専攻したのは「東洋史」でした。入学前は世界史に関心はありませんでしたが、さまざまな歴史や先生との出会いで興味が広がりました。

大学は自らの関心と視野を広げるための学びの場だと言えます。教科書には書かれていない、まだ誰も知らないことを探求したい人には、ぜひ本学科をおすすめします。

崎山 幹太 さん（2021年卒業）

AIG損害保険株式会社

主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は 53ページ

歴史学科

日本史・東洋史・西洋史・考古学、専門性を高める4つの研究領域。

専門的な研究方法を学ぶために、2年次からは日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修からひとつを選択します。各専修は専門領域が異なるだけでなく、日々の学習にもそれぞれ個性があります。考古学は発掘や実測などを通じて学生と教員が一緒に実習する機会が多いです。日本史や東洋史は古文書や漢文をじっくり読み解いていく、いわば歴史学の「王道」。他方、西洋史では学生同士が歴史の現代性を意識し、活発にディスカッションを行っています。

日本史専修

■学びの内容

日本史の研究手法は当時の手紙や日記をじっくりと読み解き、その時に何が起こっていたのかを正確に復元し、評価するというものです。授業では古文書の読解力と歴史的事象を把握する力を養います。3年次後期には自分のテーマを設定し、卒業論文に向けて研究を深めていきます。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 九州南朝勢力の研究―征西府と筑後国―
- 伴天連追放令の発布とその影響
- 近代日本における同性愛形成と社会の変容

ゼミ旅行で史跡探訪。

古文書読解の授業風景。

東洋史専修

■学びの内容

福大歴史学科の東洋史では中国史研究を中心としますので、まず中国の編纂史料について扱える能力を培います。そのうえで、おもに王朝の官僚たちが記したその内容を批判的に検討できるよう、他の資史料との対照や先行研究の参照についても訓練を重ねます。3年次からは「卒論構想発表」を重ね、卒業論文執筆に向けて自らの研究にも取り組みます。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 北朝隋唐期における側近集団
- 宋代女性に対する社会的抑圧
- 清末における衛生制度と西欧列強

ゼミ後にみんなで慰労会。

ゼミ旅行では海外に行くことも。

西洋史専修

■学びの内容

欧文で記された文献を読み解き、ヨーロッパやアメリカで発表されている研究論文や専門書を読み解く力を養います。また、過去の出来事やそれが発生した経緯が、今日のあり様にどのようにつながってきているのかを意識しつつグループワークを繰り返し、活発にディスカッションを行います。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 17世紀ロンドンの都市社会と災害
- 訪問看護と女性―革新主義時代のアメリカ社会を中心に―
- パレスチナにおけるイギリス委任統治政策

2・3年生合同での研究発表会。

ゼミ合宿では登山もありました！

考古学専修

■学びの内容

考古学は現在まで残っている物質資料から人類の歴史を復元する学問です。授業では、遺構や遺物を資料として用いることができるように、測量や実測なども行います。各地の遺跡や埋蔵文化財センター・博物館等をめぐって資料調査を行い、卒業論文に向けて研究を深めます。

■昨年度提出された卒業論文のテーマ

- 九州・中国地方の銅鐸埋納
- 中国南北朝時代の北斉仏について
- 九州における掩体壕と飛行場の関係

実習により調査能力を高めます。

専門書がならぶ考古学研究室。

歴史学科Q&A

Q 歴史は好きだけど、就職は民間を希望。大丈夫？

A 歴史学科のゼミでは、課題設定・情報収集と整理・プレゼン・議論・文章化というプロセスを繰り返すことで、研究能力を高めます。でも、こういう能力って、どんな仕事にも求められるもの。4年間で育んだ能力をいかし、民間で活躍している先輩はたくさんいます。

Q 教員になりたいが、歴史学科で学ぶメリットは？

A 中学校の社会科教員や高校の地歴科教員の免許は他の学部・学科でも取得できますが、歴史学科で専門的な知識や研究手法を身に付けておくと、いざ教壇に立った時に、教科書の内容をきっちり理解したうえで授業することができます。話題も豊富になりますよ。

Q 学芸員資格はどうやったらとれるの？

A 卒業に必要な単位に加えて、学芸員資格取得課程の授業をプラスアルファで受講する必要があります。博物館での実習もあります。また、分野にもよりますが、さらに専門的な知識や技能を身に付けるために、卒業後に大学院へ進学するケースも多くみられます。

Q カリキュラムに入っているゼミってなに？

A 少人数で実施する発表中心の授業で、科目名では「演習」といいます。受講者はテーマについて調べ、レジュメ（発表資料）を作成してプレゼンテーションし、研究を深めます。他の受講生や教員と意見交換することで、コミュニケーション能力も高めます。

資格取得者 INTERVIEW (1)

教員

中学校の社会科教員、教壇に立ってわかったこと。

教員になりたくて、中学校の社会と高校の地理歴史の教員免許を取得しました。教員免許をとるには教職科目を多く取らないといけませんが、実際に教壇に立ってみると、歴史学科で専門科目をしっかり勉強したことが役に立っています。

教員免許取得のための時間割サンプル［3年次］

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00				地誌学	
10:40			地歴科教育法	西洋の文化と歴史	日本史特講
13:00	欧米各国史	西洋史演習		西洋史特講	
14:40	東洋史特講	人文地理学			
16:20			社会科教育法	概説社会学	西洋史演習

資格取得者 INTERVIEW (2)

学芸員

考古学の学芸員を目指しています！

高校までは考古学になじみはなかったのですが、専門の先生の授業が刺激的で、発掘や研究に興味を持ちました。ゼミの先輩には、卒業後すぐに発掘現場の仕事に就いた先輩もいますが、大学院で研究を続けている先輩もいます。私はどうしようかなぁ。

学芸員資格取得のための時間割サンプル［3年次］

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					
10:40			博物館展示論	考古学演習	日本史特講
13:00		考古学演習	朝鮮史		
14:40	東洋史特講	博物館実習Ⅰ			
16:20	文化財学概論	博物館資料保存論		考古学特講	歴史学資料論

1. COLUMN ゼミ研修旅行案内

歴史学科では専修ごとに、あるいはゼミごとに研修旅行が行われています。史跡や博物館を訪れ、現地・現物をこの目でみることにより知見を深めます。まさに「百聞は一見にしかず」の実践です。研修旅行を通じて教員や学生同士の親睦もはかります。また、研究報告が中心のゼミ合宿を実施することもあります。

これまでの行き先

- 鎌倉（日本中世史ゼミ）
- 京都（日本中世史ゼミ）
- 広島（日本近世・近代史ゼミ）
- 沖縄（日本近世・近代史ゼミ）
- 台湾（東洋史専修）
- タイ（東洋史専修）
- 九重（西洋史専修）
- 阿蘇（考古学専修）

アユタヤ（タイ）

2. COLUMN 歴史学科を母体とする学会、七隈史学会

歴史学科には、教員・大学院生・学生・卒業生を中心に運営され、市民にも開かれた歴史学の学会「七隈史学会」があります。毎年秋に福岡大学キャンパスを会場に研究発表大会が開催され、学界をリードする研究者を招聘しての公開講演と、教員・大学院生・学生・卒業生による研究発表が行われています。歴史学科の学生にとっては、普段はなかなか聞くことのできない最新の研究成果に触れる貴重な機会になっています。

近年の公開講演のテーマ

2024年講演　妹尾達彦氏「大宰府と7～8世紀の東アジア都市史」
2023年講演　野上建紀氏「近世陶磁器貿易史」
2022年講演　藤原辰史氏「ナチスの食料戦争」
2021年講演　福間良明氏「大衆教養主義の戦後史」
2020年講演　桃木至朗氏「東・東南アジア史の時代区分論に2020年をどう位置づけるか」

教員紹介

※2025年4月1日現在

西谷 正浩 教授

日本史 専門分野「日本中世史」

専門は日本中世史です。日本の中世は、古代につながる古い社会と今日につながる新しい社会が交差した転換期です。現在、私たちは先行きのみえない転換の時代にいます。大転換を生き抜いた中世人の貴重な体験は、現代の私たちにも示唆を与えてくれます。

山田 貴司 教授

日本史 専門分野「中世後期の地域権力論」

室町時代から安土桃山時代までの西国をフィールドに、アジアの諸地域やヨーロッパ勢力との交流も視野に入れつつ、地域権力(戦国大名や国衆)の政治・軍事・文化的動向を研究しています。この時期に特有のダイナミックな史的展開を一緒に解きあかしていきましょう。

梶原 良則 教授

日本史 専門分野「日本近世・明治維新史」

幕末維新期に力をつけ、やがて幕府を倒して近代国家の建設を行った西南雄藩を中心とした藩政改革(行政・財政・軍事改革や経済政策等)や、西洋近代科学技術(近代的銃砲や蒸気軍艦等)の導入、外国の文物・情報を手に入れる窓口となった長崎の研究を行っています。

福嶋 寛之 教授

日本史 専門分野「昭和期の教育と国家」

昭和の戦争と教育の関わりについて研究してきました。最近は日本列島の外に視野を広げ、朝鮮・台湾・満洲国・ハワイ・アメリカ・ブラジルなど、海外で生まれ育つ日本人二世を日本国家がどのように統治しようとしたのかについて研究を進めています。

山根 直生 教授

東洋史 専門分野「中国唐・五代十国・宋代史」

中国の9～11世紀が専門です。「唐宋変革論」としての議論も多いこの時代を、現地調査の手法、軍事社会史・社会学の知見を借りてとらえ直そうとしています。直近の研究課題は、宋代に多くの軍人が寄進して建立された河北省定州市開元寺塔の石刻資史料です。

高橋 亨 准教授

東洋史 専門分野「中国近世の政治制度」

明代中国の政治制度を研究しています。明代は皇帝の独裁的権力が極点に達した時代と見なされていますが、皇帝が日々負った仕事の実態や日常的な文書行政の流れ、君臣関係の様相を研究することで、明代的な政治体制の出現が長い中国史の中で持つ意義を明らかにしようとしています。

則松 彰文 教授

東洋史 専門分野「中国清代の社会と経済」

中国清代の研究をしていますが、私はとくに、18・19世紀の世界と中国という視角を大事にしています。西欧諸国のうち最もつながりが深い英国と清国の関係史を研究していますが、その際に、中国茶とインドアヘンは不可欠の要素です。これも世界史の醍醐味と言えます。

渡邉 裕一 准教授

西洋史 専門分野「中・近世ヨーロッパ史」

中・近世のヨーロッパ、とくに南ドイツの都市アウクスブルクを対象に、環境史、災害史、疫病史の視点から研究を進めています。災害やペスト流行など危機的な状況に直面した社会の対応に着目し、中・近世ドイツ都市に生きた人々の日常と非日常にアプローチしています。

森 丈夫 教授

西洋史 専門分野「初期アメリカ史」

アメリカ合衆国が独立する前の北米を専門としています。この時代は一般にイギリス人の移民に焦点が当たりますが、現在は広い視点から時代像を見直す研究が進んでいます。私は帝国という広域的な政治体制の動向と先住民―ヨーロッパ人の関係について研究しています。

湯浅 翔馬 准教授

西洋史 専門分野「西洋近現代史」

近現代フランス政治史が専門です。そのなかでも右派勢力の歴史を研究してきました。主な研究対象は、19世紀後半～20世紀初めにナポレオン体制を支持した人々(ボナパルト派)の思想や運動ですが、革命以降に誕生したさまざまな右派勢力と、それらの間の関係にも関心を持っています。

古澤 義久 教授

考古学 専門分野「東北アジアの先史文化」

韓国、北朝鮮、中国東北地区、ロシア沿海州といった東北アジアの新石器時代～青銅器時代の文化を研究しています。そして、それらの地域と縄文時代～弥生時代の九州の関係についても研究しています。また、戦国時代～清代の中国貨幣についても研究しています。

桃崎 祐輔 教授

考古学 専門分野「古代・中世の考古学」

古墳時代の馬具や騎馬文化、祭祀や酒造り、古代・中世の仏教考古学、日宋・日元貿易に関係する沈没船に積まれた鉄素材や陶磁器などを研究しています。みずから遺跡や遺物、研究テーマを見つけ出し、知的好奇心を追究する学生を求めています。厳しく学問を鍛えるので一緒に研究しましょう。

大重 優花 助手

考古学 専門分野「中近世の金工品」

卒業論文がきっかけで鐘を研究しています。普段は除夜の鐘等でしか見る機会はないですが、鐘や刻まれた銘文は歴史を雄弁に語ってくれます。考古学は、モノから人類の過去を研究する学問です。皆さんも夢中になれるモノをみつけて、人類の歴史を明らかにしましょう。

歴史学科の年間スケジュール

4月

- **入学式**
- **科目登録／前期開始**
- **対面式・新入生歓迎会(1年次)**

5月

6月

- **教育実習** 4年次の教員免許取得希望者の実習。時期は実習先によります。

7月

- **前期終了／定期試験**

8月

- **オープンキャンパス**

- **博物館実習** 4年次の学芸員資格取得希望者の実習。時期は実習先によります。
- **ゼミ(専修)研修旅行・合宿**
  3～4年次のゼミ(専修)単位で実施。
  時期や行き先はゼミ(専修)によります。

9月

- **歴史学入門演習研修旅行(1年次)**

9月

- **後期開始**
- **七隈史学会大会**
  歴史学科を母体とする学会の研究発表会・講演会です。

10月

11月

- **学園祭**
- **卒業論文構想発表**
  3年次のゼミ(専修)単位で実施。時期はゼミ(専修)によります。

12月

- **卒業論文提出(4年次)**

1月

- **後期終了／定期試験**
- **卒業論文口頭試問(4年次)**
  提出した卒業論文について、指導教員の質疑に答える口頭試験です。
- **卒業論文発表会**
  優秀な卒業論文の執筆者が、歴史学科の教員・学生の前で口頭発表します。

2月

3月

- **専修分け説明会(2年次)**
  自身の興味・関心に即して、2年次からの専修を選択します。
- **ゼミ分け説明会(3年次)**
  自身の興味・関心に即して、3年次からのゼミ(卒論指導教員)を選択します。

- **卒業式(4年次)**

歴史学科が刊行してきた歴史学の入門書

大学での学びを充実させるためのポイントは、暗記中心の「高校の歴史学」から、問いと考察を重視する「大学の歴史学」へのスムーズな移行です。これを支援するために、歴史学科ではこれまでに3冊の入門書を刊行しています。書店や図書館にあったら、ぜひ手にとってみてください。教科書に書いてあることは正しいの？書かれていない史実は不要なの？そんな問いかけから、学びははじまるのです！

福岡大学人文学部歴史学科編
『歴史はおもしろい』
(西日本新聞社、2006年)

福岡大学人文学部歴史学科編
『歴史はもっとおもしろい』
(西日本新聞社、2009年)

福岡大学人文学部歴史学科編
『18歳からの歴史学入門』
(渓流社、2019年)

日本語日本文学科

Department of Japanese Language and Literature

専門教育科目カリキュラム ›
学科公式ウェブサイト ›

広い視野で学ぶ日本語と日本文学を通して専門的知識と洞察力を備えた、豊かな人間性を持つ人材を育む。

私たちの文化、社会、生活の根幹となる日本語と、それにより表現された日本文学。日本語日本文学科では、全時代をカバーする教授陣によって、それらを体系的に学びます。また、充実した比較文学のカリキュラムは、「世界の中の日本」というより広い視野での研究を可能にしています。演習中心の少人数制授業を通して、日本語と日本文学の根幹を学び、専門的な知識とともに、ものごとを深く考える力を備えた、豊かな自己の確立を目指します。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修し、日本語学・日本文学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	学習や課外活動、幅広い読書経験をもとに、正確に物事を考え自らの言葉で表現できる人
C	態度・志向性	自らの日本語能力と日本文学の素養をさらに向上させ、積極的に生かしていこうとする人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

日本語日本文学科での4年間

1年次　基礎教育

基礎を学ぶ

新入生はまず、「日本語日本文学基礎演習」で大学での学び方の基礎を身に付けます。「日本文学史」「日本語学概論」「日本文学概論」「比較文学概論」で学科のさまざまな専門分野の知識を得て2年次以降の専門教育の準備を行います。さらに「古典文学講読」で古典の基礎を学びます。

→

2年次　専門教育

基礎を学び、「調査研究法」で自らの興味、関心を発見する

卒業論文を指導する10人の教員が、それぞれ調査研究法の授業を担当します。この授業を通じて、調査の方法、データの収集とその分析、書誌学や文献学の初歩、研究方法とその組立て方などを学びます。3年次の演習や4年次の卒業論文につながる重要な科目で、4科目以上履修しなければなりません。また、講読や日本語史などの基礎的な科目も1年次より引き続きカリキュラムに組み込まれています。

→

3年次　専門教育

ゼミに所属―学生自らが主体的に考え、発表する演習

調査研究法を担当した10人の教員は、それぞれ演習（ゼミ）を担当します。通常3年次は二つのゼミに所属しますが、授業は3年次と4年次の合併で行われ、学年を超えた縦のつながりが生まれます。自ら調べ、考え、まとめ、発表することによって、卒業論文のテーマを発見していきます。その他、各ジャンルの特講では、より深い専門的な講義が行われています。

→

4年次　論文・就職

卒業論文

3年次で履修したゼミの中から一つを選び、4年間の学習の成果として卒業論文を作成します。日本語日本文学科のカリキュラムは、この卒業論文に向けて組み立てられており、必修科目となっています。論文作成のために費やした多くの時間は、卒業後の貴重な思い出となることでしょう。

→

卒業後

教育をはじめさまざまな分野で活躍できる人へ

取得可能な主な資格

- ☑ 中学校・高等学校教諭一種免許
- ☑ 日本語教員

在学生の声

3年次生　泊　南 さん

（福岡県 筑紫高校出身）

日本語・日本文学から歴史・宗教・哲学へ。どこまでも広がる学びがここにある。

Q1 この学科の魅力は？

古代から現代まで幅広い時代の日本語と日本文学を網羅的に学習できるところが魅力です。文学は歴史・宗教・哲学にも関連が深いため、横断的で広がりのある学びができること、新しい視点や解釈に出合えることも楽しいです。学びが絶えず広がっていくため、物事を多角的に見る追求力、問題提起の立て方や先行研究の選び方などの判断力が養われます。

Q2 好きな授業は？

くずし字や和本の扱い方などを学ぶ「古典文学調査研究法Ⅱ」です。くずし字の読解には時間がかかりましたが、回を重ねるごとに読めるようになり成長を実感しました。制作した和本は御朱印帳として今も大切に使っています。また、作品を詳しく研究する中で、調査力・読解力・想像力が向上し、文章の構成や文法を論理的に説明する力も身に付きました。

私の時間割（2年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00		スペイン語ⅡA			
10:40	漢文学講読Ⅰ	インターミディエイト・イングリッシュⅠ		インターミディエイト・イングリッシュⅢ	日本語教育法Ⅰ
13:00	近代文学及び比較文学講読Ⅱ	日本語史Ⅰ	古典文学調査研究法Ⅱ	近代文学調査研究法Ⅰ	教育制度論
14:40				古典文学講読Ⅱ	スペイン語ⅡB
16:20			道徳教育論		

卒業生の声

学問分野も時代区分も幅広く研究できる。授業での学びが教育に対する考えの礎となった。

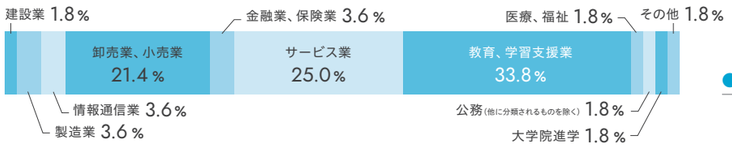
高校時代から古典文法が好きで、国語の教員を目指していたことから本学科を選びました。在学中は「日本語学概論」や「日本語史」などの授業で言語について学びを深め、国語への興味がいっそう高まりました。また、ゼミでは古典文法の助詞や助動詞について調査・研究し、助動詞についての卒業論文をまとめました。4年間を振り返ると、文学や語学という学問の点でも、古代から現代までに至る時代という点でも、幅広く学び、研究できる環境が整っていたと感じます。

現在は高校で教鞭を執っていますが、生徒は時代に応じて変化しています。それに伴い高校の授業も進化していく必要があり、そのために大切なのは教員自身も常に考え続けることだと思っています。今の私を支えるこの本質的な思考は、在学時に「日本語教育法」などの授業で国語教育や教育について学んだことがベースになっています。

北原　佑太郎 さん（2017年卒業）

福岡県立鞍手高等学校（教諭）

主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は 53ページ ›

日本語日本文学科

専門科目について

専門科目の特徴

- 専門科目は、日本語学系列、日本文学系列、比較文学系列の三つに分かれます。一つの専門に集中するのではなく、他の専門の科目も取るようにすることで、幅広い、バランスの取れた学習をすることができます。
- 系列が三つに分かれているだけでなく、時代も各時代をカバーしています。本学科のカリキュラムでは、基本的な知識の習得と、専門性の高い学習の両立が可能となっています。

教員の構成

- **日本語学**
  - 衣畑 智秀（古代語）
  - 江口 正（現代語）
- **日本文学**
  - 〈古典文学〉
    - 大坪 亮介（中世）
    - 大関 綾（近世）
  - 〈近代文学〉
    - 永井 太郎（明治～大正）
    - 中野 和典（昭和～）
    - 畑中 佳恵（明治～昭和）
- **比較文学**
  - 〈古典文学及び比較文学〉
    - 須藤 圭（古典文学・中古）
  - 〈近代文学及び比較文学〉
    - 林 信蔵（近代文学・比較文学）

教員からのメッセージ

※2025年4月1日現在

衣畑 智秀 教授

日本語学 古代語

日本語の文法史を研究しています。特に関心のあるテーマは、「係り結び」や疑問文の歴史です。係り結びはどのように成立し消滅したのか、係り結びの消滅は、日本語の文法にどのような影響を与えたのか。その影響関係は、現在も係り結びが使われる琉球諸語で、どのような形で表れているのか。授業では、係り結びが活発に使われていた上代・中古を中心に、必要があればその後の歴史も含めて学んでいきます。

［衣畑ゼミの卒業論文］
- 動詞「ことわる」の歴史的変遷について
- さげすみの副助詞「なんか」の歴史的変遷
- 動詞「過ぐ」の歴史的変遷
- 中古和文における助動詞の研究 ～「めりき」「けるなめり」
- 上代における「日」についての考察
  ―一音節語ヒ・フ・カ・ケの意味分析―

江口 正 教授

日本語学 現代語

現代日本語関係の科目と、日本語教員養成科目を担当します。普段言葉を使うときにはいちいち文法は気にしませんが、言葉の使い方を少し真面目に考えると、不思議なところが出てきます。そういう謎を見つけ、解いていくのが私の目標です。いつも自分が使う言葉の中に、誰にも見つけられたことのない「謎」が潜んでいるのが分かった時はとてもわくわくするのですが、その感じを共有できるように一緒に学んでいきたいと思います。

［江口ゼミの卒業論文］
- 「文字を書く」ことの言語化について
- 感動詞研究　談話管理理論から見た「あーね」論
- 出雲方言の文法―文末の「ニ」
- 文末名詞「形」～新聞記事における「形」の機能～
- 動詞に後接する「ばかり」の研究
- 形式名詞「甲斐」の意味・機能について

須藤 圭 准教授

比較文学 古典文学（中古）

源氏物語をはじめとした、平安時代に成立した中古文学を研究しています。これらの中古文学は、抜群に面白いストーリーやキャラクターを持つことはもちろん、現代においても、絵画、芸能、映画、漫画、アニメ、舞台など、さまざまな作品に影響を与えています。およそ1000年前に書かれた中古文学を、いま、私たちが読むことの価値は、どこにあるか。このことを考えながら、文学が持つ想像力と可能性を問いなおしたいと思っています。

［須藤ゼミの卒業論文］
- 高畑勲『かぐや姫の物語』論
- 『源氏物語』における色彩表現と機能
- 『とりかへばや物語』における女君の容姿と表現
- 王朝物語における冒頭表現の方法と史的展開
- 八代集恋部における「月」の表現

大坪 亮介 准教授

日本文学 古典文学（中世）

中世文学、特に南北朝動乱を描いた軍記物語『太平記』を主たる研究対象としてきました。およそ六十年にもわたって朝廷が分裂し、全国規模で戦いが繰り広げられた混沌の時代を、当時の人々はいかに理解し、いかに叙述しようとしたのか。また、『太平記』はいかなる時代的背景によって、いかに変化していったのか。こうした点に興味を持っています。

［大坪ゼミの卒業論文］
- 和歌からうかがえる七夕
- 『とはずがたり』における作者後深草院二条と父雅忠
- 『平家物語』の諸本における重盛と維盛

大関 綾 講師

日本文学 古典文学（近世）

近世文学、特に幕末の長編合巻という絵入小説を研究しています。当時の人々が作品をいかに受容し、物語がいかに長編化したかについて、文化的背景や「嗣作」という作法をもとに分析しています。長編合巻は古典作品を随所に取り込んでいるため、ジャンルを問わず多くの作品を一緒に学んでいきたいと思います。また最近のポップカルチャーは幕末のものと類似点があると考えています。自身の問題関心に引きつけ、古典文学に親しみましょう。

畑中 佳恵 准教授

日本文学 近代文学

日本近現代文学を研究しています。とくに、「長崎」イメージの形成と文学作品の関わりについて調べたり考えたりしてきました。大学での数年間は、自他の常識となっている価値観やイメージをいろいろな角度から吟味することやその重要性を学べる、かけがえのない期間です。自分と異なる時代、属性、人間関係を生きる人々の視点が織り込まれた文学作品は、その学びを手助けしてくれます。さまざまな作品との出会いを楽しみながら、一緒に読み解いていきましょう。

［畑中ゼミの卒業論文］
- 小川洋子「博士の愛した数式」論
  ―登場人物間の愛情表現の描写を中心に―
- 夢野久作『少女地獄』論―作中に登場する少女の嘘―
- 江戸川乱歩『孤島の鬼』論
  ―タイトルに込められた意味について―
- 内田百閒作品における声・音の考察―「冥途」を中心に―
- 夏目漱石「文鳥」論

中野 和典 教授

日本文学 近代文学

昭和期以降に書かれた日本文学を研究しています。この研究領域は、いわゆる「時の洗礼」を受けてないという意味では最も洗練されていないものと言えますが、それゆえに「現在的な問題」により直接的に接近できる可能性も持っています。ただし、それは目の前にあることだけに目を向ければ見えてくるというものではありません。時代や場所を越えてより多くのものごとに目を向けることによって初めて見えてくる問題を、学生の皆さんと一緒に追究していきたいと考えています。

［中野ゼミの卒業論文］
- 芥川龍之介「蜜柑」論
- 壺井栄『二十四の瞳』論
- 小川洋子「博士の愛した数式」論
- 太宰治「人間失格」論
- 大岡昇平『野火』論
- 宮本輝「星々の悲しみ」論

永井 太郎 教授

日本文学 近代文学

専門は明治末から大正期にかけての近代文学です。内田百閒という作家の研究ですが、同時代の小説や思想にも関心を持っています。授業では夏目漱石や内田百閒をはじめ、多くの作家を扱うようにしています。個々の作品について論じるだけでなく、小説に関する、より一般的な問題についても考えていきます。

［永井ゼミの卒業論文］
- 太宰治『葉桜と魔笛』論
- 宮部みゆき『火車』論
- 中島敦『古譚』論
- 安部公房『バベルの塔の狸』論
- 江戸川乱歩『孤島の鬼』論

林 信蔵 教授

比較文学 近代文学

比較文学を担当しています。比較文学とは、文学作品をそれ自体としてだけではなく、それと隣接するさまざまな要素との関係から考えてみる学問と言いかえることができます。私は、日本近代文学におけるフランス文学・文化の影響、音楽や絵画に造詣が深い作家の文学作品の特徴について考えてきました。また、日本文学がどのように海外に紹介されているのかなどについても関心があります。

［林ゼミの卒業論文］
- 三島由紀夫『女神』における「アメリカ」と「ヨーロッパ」
- 村岡花子訳『赤毛のアン』論
  ―隠された愛の言葉をめぐって―
- 林芙美子のパリ表象
- 谷崎潤一郎『少年』論
  ―なぜ光子は「少年」と呼ばれるのか―
- 梶井基次郎『檸檬』における色彩表現

訪書旅行

古書や文学遺跡に直接触れることで得られる感動を共有し、学修の意欲を高めます。主な目的地は京都を中心とした関西圏で、現地の図書館・博物館などで貴重な典籍を目にしたり、宿舎に戻って百人一首大会をしたりして、学生同士および学生と教員が交流を深めます。訪書旅行での体験が、3年次以降のゼミで学んでいく大きなモチベーションになったという声も、多数聞かれます。

百人一首大会

和本の閲覧

学科年間スケジュール（一例）

4月	■ 前期開始／入学式 ■ 学部指導懇談会 … 教員と1年次生が初めて顔を合わせます。 ■ 新入生歓迎会（1年次） … 2年次生が新入生を歓迎します。
5月	
6月	
7月	■ 前期試験／前期終了
8月	■ オープンキャンパス … 教員と在学生が高校生に学科を紹介します。 ■ 夏休み ■ レクリエーション … ゼミ旅行や合宿、コンパなど。
9月	■ 後期開始
10月	
11月	■ 七隈祭
12月	■ 卒業論文提出（4年次） … 日本語日本文学科は卒論が必修です。
1月	■ 福岡大学日本語日本文学会 ■ 後期試験／後期終了 ■ 卒業論文口頭試問
2月	■ 卒業論文発表会 … 優れた卒業論文をみんなの前で発表します。 ■ 演習ガイダンス（2年次） … ゼミの希望届けを出し、3年次の配属を決めます。 ■ 履習ガイダンス（1年次） … 調査研究法の履習について説明します。 ■ 予餞会（1～4年次） … 卒業生を送り出す会ですが、全学年が参加可能です。
3月	■ 訪書旅行（2年次） ■ ゼミ所属決定 ■ 卒業式

進路について

就職

本学科卒業後の就職先としては、**広く言葉の能力や文学的感性を要求される職業**が挙げられます。最も**代表的なものは教職**です。現在、教員が不足し、専門的な知識を持つ人材が必要とされています。本学科の卒業生の中には、九州地区だけでなく、兵庫県や愛知県、東京都など、関西、中部、関東地区での教員採用試験に合格し活躍している方もいます。

日本語教員は**国内外で日本語を教えている卒業生**がいます。教員以外では、**国家・地方公務員や卸売・小売業などの一般企業でも広く活躍**しています。

進学

卒業後、**さらに専門的に学びたい人のために大学院**があります。大学院は**博士前期課程と博士後期課程の二つの課程**があり、前期課程は2年間で修士論文を執筆します。後期課程は3年間で、博士論文の審査を通ると博士の学位が与えられます。学部卒業生にとって、大学院に進学するのも一つの道でしょう。真剣に学び、高度な力を身に付けた人に、もっと学びたいという気持ちが出てくるのは自然なことです。

また、そういう希望が生まれるくらい勉強してほしいと思います。**前期課程を修了した学生には専修免許状が与えられ、国語の教員を目指す人にも、大学院で学ぶことは有益**です。

人文学部

教育・臨床心理学科

Department of
Education and Clinical Psychology

教育と臨床心理、2つの領域の統合で人を育み、人の心に関わる。

教育・臨床心理学科では、「教育学」と「臨床心理学」の2つの領域を総合的に学ぶことで、自分の生涯にわたるキャリア形成について主体的に考え、人を支援するための知識とスキル、態度を身に付けていきます。

将来の進路に応じた、公認心理師トラック、キャリアデザイントラック、学校教員トラックの3つのトラックで学んでいきます。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	教育学と臨床心理学の2つの分野を学ぶのに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	人と社会に向きあい、課題を発見し、解決にむけて他者と協力できる人
C	態度・志向性	人と社会に興味をもち、新しい学びや出会いに積極的な人
D	その他の能力・資質	自ら目標を立てて、英語の資格を取得した人や課外活動などで顕著な成果を挙げた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

教育・臨床心理学科での4年間

1年次　基礎教育

「キャリア形成基礎論Ⅰ」を受講し、「公認心理師トラック」、「キャリアデザイントラック」、「学校教員トラック」の特徴を知ると共に将来の進路イメージを作り、1年次終了時にトラック選択を行います。

希望が集中した場合には、GPA（1年次の成績）で振り分けることもあります。

→

2／3／4年次　専門教育／論文・就職

- 所属するトラック（詳細は24ページ～）の科目を中心に学びます。各トラック独自の特色のある実習の機会があります。
- 他のトラックで開講されているさまざまな専門科目も履修可能です（一部制限あり）。
- 2年次後期には「キャリア形成基礎論Ⅱ」を受講し、自分のこれからの学びとキャリアについて具体的に考えます。
- 3年次からは、選択したトラックにかかわらず、自分の興味関心に従って専門演習（ゼミ）を選択することができます。

→

卒業後

地域社会や学校、病院、企業等で専門的知識とスキルを生かして、人を支援する人材へ

専門教育科目カリキュラム ›　学科公式ウェブサイト ›

取得可能な主な資格

- ☑公認心理師国家試験受験資格（大学における必要な科目）
- ☑中学校（社会）・高等学校（公民）教諭一種免許
- ☑社会教育主事（基礎資格）
- ☑日本語教員

在学生の声

3年次生　古賀 詩織 さん
（福岡県 西南学院高校出身）

教育学と臨床心理学の観点から養う傾聴力。物事を多角的かつ批評的に見る力が付いた。

Q1 この学科の魅力は？

相関しあう教育と臨床心理を共に学習することで、つながりや違い、両者を学ぶべき意味が進級とともに理解できる点です。例えば、教員を目指す場合は臨床心理への理解が必要であり、傾聴力を鍛えることで学生の立場に寄り添える姿勢が身に付きます。先生方や学生の傾聴する姿勢が、学科全体に浸透しているのが特長です。

Q2 好きな授業は？

キャリアデザイントラックを選択した人が受講できる「インターンシップ実習」です。グループで企業の課題解決に取り組んだ際は、バスケチームの集客率アップのため、試合や会場に足を運んで研究を重ねました。その結果、課題と提案は抽象的なものから具体的になり、本学科の学びで培った批判力や分析力のおかげで、実習を成功に導くことができました。

私の時間割（2年次後期）

	月	火	水	木	金
9:00	生涯スポーツ論	フランス語ⅡA	インターンシップ実習		
10:40		インターミディエイト・イングリッシュⅡ		インターミディエイト・イングリッシュⅣ	産業・組織心理学
13:00		キャリア形成基礎論Ⅱ		教育社会学	
14:40		キャリア教育論			フランス語ⅡB
16:20				知覚・認知心理学	教育・学校心理学

卒業生の声

臨床心理学の学びが子どもと向き合う力に。授業づくりや教材研究の基礎も講義・ゼミで習得。

学校教員は、生徒が何に困っているのか、どうすれば力を伸ばしていけるのかを考える必要があります。子どもたち一人一人と向き合う力の基礎となっているのは、本学科の臨床心理学で学んだ「人との関わり方」だと考えています。また、教育社会学や社会教育学を学ぶ中で、社会においてキャリアを積むことの大切さにも気付きました。本学科での学びを通して、少子高齢化のこれからの厳しい中でも社会を支え、自分らしく生きていける子どもたちを育てたいと思い、現在の仕事を選びました。

私たち教員は授業が命です。授業を通してどのような力を身に付け、成長してもらうのかを考えるにあたり、教育学や社会学の講義で自身と社会の関わり方を見つめた経験が現在の授業づくりの基礎になっています。さらに、ゼミで研究に励んで調査・分析力を磨けたおかげで、授業の教材研究力が自分の強みになったと実感しています。

横山 真 さん（2017年卒業）
糸島市立南風小学校（教諭）

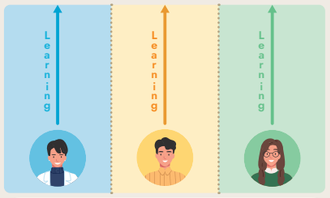
主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）

●人文学部の主な就職先は 53ページ

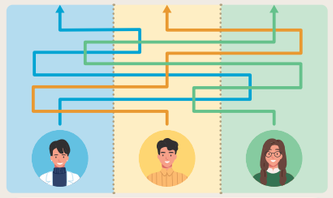
本学科が採用している「トラック制」とは？

トラック制と似たものに「**コース制**」があります。コース制は専門に特化した学びが可能である一方、他のコースの授業が取りにくい、コース同士の交流が少ない、などのデメリットもあります。

本学科の最大の特長は**教育学と臨床心理学の両方が学べること**。その持ち味をこれまで以上に生かすために、私たちは**★「トラック制」を導入しました。**



コース制のイメージ


★トラック制のイメージ

Point

トラック制によって、例えば**「教育や学校現場に理解のある公認心理師」、「子どもの心理や対応に詳しい学校教員」、「教育と心理の知識を生かせる社会人」を目指す**ことができます。

「教育学」と「臨床心理学」の両方を学ぶ魅力を最大限生かす
＝「トラック制」！

公認心理師トラック

心に寄り添い、人に関わる
心理のプロフェッショナルを目指して。

公認心理師を目指す人向けのトラックです。「総合大学の良さ」を生かし、医学部、病院、附属校とも連携しています。学部のみならず大学院も公認心理師対応のカリキュラムになっています（実習の関係から、人数制限があります）。

■実習紹介

心理実習

福岡大学病院、福岡大学附属大濠高等学校、福岡大学附属若葉高等学校、発達教育センター、法務少年支援センター、福岡大学臨床心理センター・附設学校適応支援教室ゆとりあ などで見学等の実習を行います。公認心理師が社会の中で果たす役割を具体的に学ぶことはもちろん、公認心理師としてのキャリアについても考えます。

■充実したセミナー

公認心理師国家試験・現役合格体験談セミナー

現役合格者に、合格に向けた具体的な取り組みについて紹介してもらいます。学部での学びはもちろん大学院での経験、年齢が近い公認心理師ロールモデルとして多くのことを知ることができる、大変貴重な機会です。

■予想される進路

- 大学院進学（公認心理師）
- 公務員・各種団体職員（福祉、司法、矯正領域の心理専門職）
- スクールカウンセラー
- 一般企業におけるカウンセラー、人事・教育・マーケティング部門等の職員
- 医療機関職員
- 福祉施設職員
- NPO、NGO職員
- 公認心理師トラックでの学びを生かし、民間企業（心理職以外）…etc.

■Graduate's Voice　卒業生の声

2021年3月まで勤務した児童相談所では、これまで一時保護所で子どもたちの生活場面での行動観察や心理療法を行いました。現在は子どもへの心理検査、心理療法、家族面接に携わっています。「チームで子どもたちのためになる支援を」を目標に、日々自己研鑽に励んでいます。

末永 智子
［福岡県精神保健福祉センター］

キャリアデザイントラック

教育学と臨床心理学の学びを
社会の多様な領域で生かす。

教育学と臨床心理学は専門職になるためだけの学問ではありません。このトラックでは、講義や演習に加え、トラック独自の実習を通し、民間企業、官公庁、NPOなど多様な領域で活躍できる人材の育成を目指します。

■実習紹介

キャリアデザイン実習

福岡都市圏の企業が抱える課題を解決するために、企業の担当者や大学教員らとともに調査や発表を行います。実習における出会いや経験を自他のキャリア形成に生かすことも目的としています。

■充実したセミナー

就活対策セミナー、キャリアデザインセミナー

教育・臨床心理学科生が授業で身に付けた能力や資質を生かして、就職活動等を成功させていく。そのためのテクニックを学ぶためのセミナーを、優れた専門家を招いて実施しています。

■予想される進路

［業界］
- 地元有力企業、関東関西の有力企業
- 公務員
- 自治体、公益財団法人、NPO
- 教育関連企業、人材育成・派遣企業

［職種］
- キャリアカウンセラー、キャリアコンサルティング、人事担当、企画立案 …etc.

■Graduate's Voice　卒業生の声

本学科での学びを通して、人として強く、そして他者に少し優しくなれた気がします。教師を志して進学しましたが、教師以外の進路を目指す同級生と学べたのも貴重な経験でした。迷うことも多かったですが、結果的に記者になれたのは本学科だから選べた進路だと思います。

江上 晋太朗
［時事通信社・経済部］

学校教員トラック

多様な社会で生きていく子どもたちを育てる
教員・支援者の養成。

このトラックでは、「多様性」をキーワードに、多様な子どもたちへの支援や多様化する社会を生きる子どもたちの育成の在り方を考える講義・演習、さらには課外セミナーを通し、学校教員や教育支援者を養成します。

■実習紹介

教育デザイン実習

福岡大学の高大連携プログラムの一つとして、高校生向けに「大学での学び」に関するイベントを企画し、実施します。グループワークや課題解決学習を通して、学校教員を含めた教育業界で活動するためのスキルや姿勢を身に付けることを目的にしています。

■充実したセミナー

LP×多様性セミナー、教採対策セミナー

課外でも、多様性（性の多様性、外国人児童生徒等）に関する学びを深めたり、教員採用試験に向けた対策をしたりする機会があります。教員との距離も近く、学生同士の交流の機会にもなっています。

■予想される進路

- 中学校教諭（社会科）、高等学校教諭（公民科）
- 小学校教諭（※別途プログラムの受講が必要）
- NPO（フリースクール）、教育関係企業
- 大学院進学（教育学の大学院、教職大学院等）
- 公務員（教育行政職）　…etc.

■Graduate's Voice　卒業生の声

実際の教育現場でも見られるジェンダーの問題や外国にルーツを持つ子どもたちなど、教育学について心理学と並行しながら幅広く学ぶことができるのは学校教員トラックならではの魅力だと思いますし、現在教師として働く上でもこの学びが非常に役立っています。

押川 聖弥
［宮崎県・延岡市立岡富中学校］

教員・研究の紹介

教育・臨床心理学科に所属している教員をご紹介いたします。

※2025年4月1日現在

伊藤 亜希子 教授

専門分野

「異文化間教育学」
「比較教育学」

異なる文化的背景を持つ人々が共に生きるために、どのような教育支援を行うことができるのか、ドイツと日本における理論、政策、実践を研究しています。多文化共生のまちづくりにも関心を寄せています。

植上 一希 教授

専門分野

「教育学」
「キャリア教育」

研究テーマは専門学校における教育とキャリア形成です。日本の中心的職業教育機関といえる専門学校における教育やキャリア形成の実態や意義の解明を進めるために、専門学校関係者に対するさまざまな調査を実施しています。

勝山 吉章 教授

専門分野

「西洋教育史」

主としてフリードリヒ・フレーベルについて研究しています。1840年に世界で初めて幼稚園を設立したフレーベルは、遊びに教育的意義を認め、遊具や遊戯を開発しました。従って、遊びや遊具の教育的意義についても研究しています。

髙妻 紳二郎 教授

専門分野

「教育行政学」
「教育経営学」

英国を素材に、教育を支えるさまざまな仕組み(制度、行政等)の評価・改善に関して、従来型の公教育システムが変容し地方教育行政の枠から飛び出て台頭するニュータイプの公教育の功罪を実証的に研究しています。

坂本 憲治 教授

専門分野

「臨床心理学」「多職種協働」
「キャリアカウンセリング」

主に青年期・成人期を対象とした心理支援の研究をしています。
一対一の関係の中で行う治療的カウンセリングだけでなく、健康な人々の成長に役立つカウンセリングや、多職種と協力して行うチームアプローチに関心を持っています。

佐藤 仁 教授

専門分野

「比較教育学」
「教師教育」

アメリカ合衆国を中心に、諸外国の教育制度や教育政策を研究しています。特に、教員養成の質を保証する仕組みに関心があり、諸外国の実態を分析して、日本の教員養成制度への示唆を導き出すことを目指しています。

添田 祥史 教授

専門分野

「社会教育・生涯学習」
「成人基礎教育」

夜間中学や識字教室を主たる研究フィールドにしています。何らかの事情で学齢期に教育を受けることができなかった人の学習権保障に関心があります。

田村 隆一 教授

専門分野

「フォーカシング指向心理療法」
「夢フォーカシング」
「カウンセリング」

カウンセリングの技法の一つであるフォーカシングを研究しています。まだはっきりと言葉にならない感覚に注意を向けて、そこから生まれるものを大事にする方法です。フォーカシングによる夢分析も研究しています。

徳永 豊 教授

専門分野

「特別支援教育」
「臨床心理学」
「障害支援心理学」

「障害の重い子どもとの授業における目標設定と学習評価」や「障害のある子どもの早期発達支援」など、乳幼児の発達研究を基礎としつつ、近年は障害のある人の就労支援も含め、幅広く研究・活動しています。

長江 信和 教授

専門分野

「臨床心理学」

インターネットを介した遠隔心理支援(遠隔カウンセリングやアセスメント、コンサルテーション、心理教育)の開発および効果検証を行っています。また、公認心理師の資質向上についても研究テーマとしています。

藤田 由美子 教授

専門分野

「教育社会学」
「『ジェンダーと教育』研究」
「子どもの社会学」

これまでの研究テーマは以下の通りです。(1)幼児期における子どものジェンダー構築、(2)幼児教育・保育・子育て支援におけるジェンダー問題、(3)子ども向けメディアに描かれるジェンダー。

松永 邦裕 教授

専門分野

「子どもの心理臨床」

不登校や発達障害、被虐待の子どもなど、子どものさまざまな問題を発達的視点(子どものそだち)から捉え、臨床心理学的な援助の在り方について実践的な研究を行っています。

満身 史織 講師

専門分野

「臨床心理学」
「子育て支援」
「コミュニティ・アプローチ」

乳幼児を育てる親や、学童期の子どもに対して地域に出向いて、居場所づくりを中心とした予防的支援の活動を実践しながら、そのより良い方策について研究しています。

本山 智敬 教授

専門分野

「臨床心理学」
「パーソンセンタード・アプローチ(PCA)」
「エンカウンター・グループ」

ロジャーズのPCAを臨床の基盤とし、カウンセラーの傾聴の態度の育成、またエンカウンター・グループを中心としたグループ・アプローチを学校現場や組織の人間関係づくりに生かすための実践と研究を行っています。

山岸 賢一郎 教授

専門分野

「教育学」
「教育哲学」
「道徳教育学」

教育や道徳教育について哲学しています。例えば、道徳教育が有意義かつ道徳的なものであるための条件について考えたり、道徳科の授業をより良いものにするための方法について考えたりしています。

吉岡 久美子 教授
(村上 久美子)

専門分野

「メンタルヘルスリテラシー」
「福祉心理学」
「教育・学校心理学」

"生涯にわたる心の健康"について、QOL(Quality of life)を基軸に研究を進めています。特に、児童・思春期の支援に関する国際比較研究と高齢期の支援に関する研究(認知症、ケアラーのケア、チームアプローチ)への関心が高いです。

教育・臨床心理学科Q&A

Q1 トラック制についてもう少し教えてください。

A1 24ページのイメージにあるように、本学科のトラック制は自分の将来のキャリアを意識して選択し、そのトラックの授業を中心にしつつ、他のトラックの授業も履修できる仕組みです。実習科目はそのトラックに所属している学生しか履修できませんが、それ以外は大きな制限はありません。トラック選択は、1年次の終わりに行います。例え入学時にはまだ自分のキャリアについて漠然としか考えられていなくても、トラック選択までに、「キャリア形成基礎論Ⅰ」という授業で、各トラックについて学んだり、自分の将来のキャリアについてしっかり考えたりする機会を設けています。なお、特定のトラックに希望が集中した場合には、GPA(1年次の成績)で振り分けることもあります。

Q2 教育学と臨床心理学の両方を学ぶことの良さって何？

A2 本学科の学びの基礎は、教育学と臨床心理学によって作られます。中には、「教育学だけ学びたい」「心理学だけ学びたい」という人もいるでしょう。ですが、この2つを学ぶことは将来に大きな可能性を開くことになります。先輩の声を聞いてみましょう。

公認心理師トラック

先輩Aさん
(スクールカウンセラー)

心理職として働くには、「心理学のことだけ知っていればいいというわけではない」ということを教育学の授業を通して気付かされました。子どもを取り巻く学校や社会の抱える課題について理解を深めたことは、子どもと向き合うためにも必須だと思います。

キャリアデザイントラック

先輩Bさん
(民間企業)

私はチームで仕事にあたることが多く、教育学の授業で体験したグループでの調査や集団と個の心理についての学びは、チームの雰囲気をつくったり、チームを引っ張っていったりするときに、とても役に立っています。

学校教員トラック

先輩Cさん
(小学校教諭)

教育学の学びはもちろんですが、臨床心理学の授業を通して学んだ「カウンセリングマインド」や「傾聴のスキル」は、自分が子どもに向き合う姿勢の基礎となっています。そのため、落ち着いて子どもや保護者と向き合うことができています。

どうでしょう？ 教育学と臨床心理学の両方を学ぶ良さ、少しは感じられるでしょうか。

Q3 3つのトラックに分かれる中で、教育学と臨床心理学の両方を具体的にはどのように学びますか？

A3 **トラック制のメリットは、トラックを越えて授業を取ることができる点です。**それを生かして、時間割を作ります。

Aさん 公認心理師トラック 3年次生

公認心理師の資格を取ってスクールカウンセラーとして働きたいから、学校教員トラックの授業もたくさん取っています。

時間割[前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	心理学実験				
2		関係行政論	心理学的支援法		グローバリゼーションと教育
3	多様性の教育学	社会・集団・家族心理学			教育福祉論
4				専門演習Ⅰ	
5		法と子どもの権利	精神疾患とその治療		

Bさん 学校教員トラック 3年次生

学校現場を知り、実践力のある教員になりたい。キャリア教育にも関心があります。

時間割[前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	カリキュラム実践論	人文地理学A	教育デザイン実習		グローバリゼーションと教育
3	生徒指導論	教育方法とICTの活用			
4		専門演習Ⅰ	社会科教育法Ⅰ	キャリア教育論	
5			教育相談	学習・言語心理学	自然地理学A

Cさん キャリアデザイントラック 3年次生

地域で人を支える仕事ができるようになりたいから、生涯学習について学んでいます。

時間割[後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2				学習方法開発論	産業・組織心理学
3	障害者・障害児心理学	キャリアカウンセリング	教育福祉論	教育社会学	
4		社会教育学	生涯学習概論B	専門演習Ⅱ	国際化と日本
5	労働と法制度		社会教育演習B		

Dさん キャリアデザイントラック 2年次生

インターンシップ実習で企業のことを知って、将来は人材育成の仕事に就きたいです。

時間割[後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	生涯スポーツ論	中国語ⅡA	キャリアデザイン実習		
2	教育の原理・課程論	インターミディエイト・イングリッシュⅡ		インターミディエイト・イングリッシュⅢ	生涯学習概論B
3	社会学B	キャリア形成基礎論Ⅱ		経済学B	産業・組織心理学
4		社会教育学		教育福祉論	中国語ⅡB
5					教育・学校心理学

■各トラック専門科目：公認心理師トラック系科目　キャリアデザイントラック系科目　学校教員トラック系科目

※授業の開講時期はイメージです。年次によって開講時期や時間割は変わる可能性があります。

英語学科

Department of English

専門教育科目カリキュラム ›
学科公式ウェブサイト ›

高度な英語力を身に付け、国際的な視野や異文化への理解力を持つグローバルな人材に。

英語学科では、「文化・文学」「英語・英語教育」「グローバル・コミュニケーション」の三つの領域を総合的に学び、広い教養と深い専門知識を身に付けグローバル社会に貢献できる人材となれるよう学んでいきます。そのために、国際社会に積極的に参加することができる英語運用力を身に付け、*TOEIC*®や*IELTS*等の資格試験で高いスコアを得ることも目標になります。さらに「グローバル・キャリア科目群」を通して、自分の将来のキャリアを主体的に考えます。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を身につけており、さらに英語の学習を深めてゆくのに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
C	態度・志向性	広い教養と深い専門知識を身に付け、国際社会、地域社会に貢献したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

英語学科での4年間

1年次　基礎教育

基礎作り

「基礎演習」や「英語音声実習」さらにはOral CommunicationやIntegrated Englishといった科目で英語の知識や技能およびアカデミックスキルを学びます。また、「入門」で三つの科目群の基礎を体系的に学びます。

→

2／3／4年次　専門教育・論文・就職

専門分野にゆるやかにシフトし、選択した分野を能動的に探究

三つの科目群（英語圏の文化や文学について学ぶ「文化・文学科目群」、英語の仕組みや意味、機能、外国語としての英語学習や英語教育について学ぶ「英語・英語教育科目群」、グローバル社会における諸課題やコミュニケーションについて学ぶ「グローバル・コミュニケーション科目群」）の科目から学び、より専門的な学びにシフトしていきます。また、「グローバル・キャリア科目群」の科目を通して、卒業後のキャリアアップ形成やさらなる英語運用力を養います。

3年次からは演習（ゼミと呼ばれる少人数制クラス）を履修し、専門性を高めていきます。

What's SIE?［Study In English プログラム］

2年次以上の一部の授業において、英語運用力の高い学生のみを選抜した少人数クラスを作り、そこで、原則として英語のみを使用するハイレベルな授業を行います。

→

卒業後

グローバル化がさらに進む次代の社会で真の国際人として活躍

取得可能な主な資格

- ☑ 中学校・高等学校教諭一種免許
- ☑ 日本語教員

在学生の声

2年次生　木口 善太郎 さん

（長崎県 五島高校出身）

ネイティブが使う実践的な英語に浸る。理想的な環境で語学力の向上を実感。

Q1 この学科の魅力は？

ネイティブが使う自然な英語を1年次から学べる充実した環境が魅力です。高校までは文法通りの英語しか知らず、会話時に応用が利きませんでした。しかし、本学科では海外で通用する実践的な英語を学べて、アウトプットの機会も多いため、着実に上達します。オールイングリッシュの授業では、4技能を総合的に鍛える時間が豊富で、英語に対する自信が付きます。

Q2 好きな授業は？

「英語圏文化研修」でカナダのカルガリーに1カ月間滞在し、現地の大学に通った経験は一生の思い出です。最初は発音に苦労しましたが、ホストファミリーや友人たちと積極的に話すうちに、少しずつ伝わるようになり、英語力の向上を実感しました。この研修をきっかけに世界を旅したいという思いが強まり、英語学習への意欲が一層高まりました。

私の時間割（2年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00		フランス語ⅡA	英会話ⅡA		英語史A
10:40	英語学の諸相ⅠA	芸術A	統計入門	メディアと英語文学A	インターミディエイト・イングリッシュⅠ
13:00				英語ライティングA	
14:40		インターミディエイト・イングリッシュⅢ		英語読解ⅠA	フランス語ⅡB
16:20		英語圏文化研修A		英語音声学A	

卒業生の声

実践的に英語力を伸ばせるカリキュラムや恩師の姿が、英語教育への道を開いた。

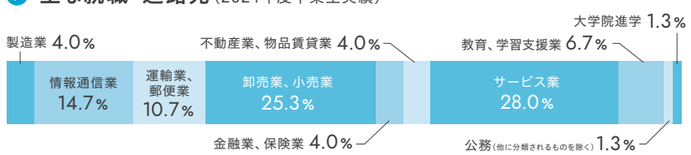
高校の英語教員を経て、現在は学生から社会人までを対象とするオンライン英語コーチングとコンサルタントの仕事をしています。受講生の悩みを解決するには、言語にまつわる知識や経験が必要不可欠です。本学科では英語学概論や英語教授法など、英語を多面的に見る科目や、ネイティブとのディスカッションや英語でのプレゼンなど、実践科目が充実しています。また、文学・文化、会話や議論の中から「英語とはどんな言語なのか」を深く専門的に学べる機会も数多くあります。

学生時代にゼミ活動の一貫として参加した英語プレゼンテーションコンテストにおいて、英語で想いを伝える楽しさに出会ったおかげで、卒業後も一貫して英語教育に携われています。さらには、親身になって悩みに寄り添っていただいた恩師の先生方が、人としても教育者としても素晴らしく、私の道しるべとなっています。本学科で培った専門的な英語力や、英語を通して得た経験を多くの人に還元したいと思います。

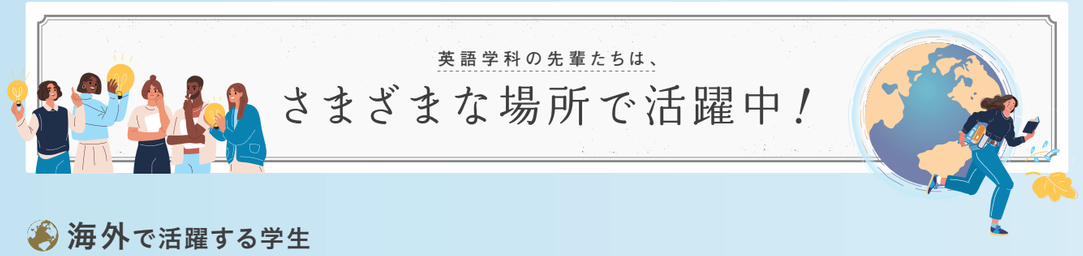
月野　剛 さん（2015年卒業）

株式会社Morrow World
オンライン英語コーチング イングリード

主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は 53ページ ›



海外で活躍する学生

フィンランド　タンペレ大学に交換留学

橋本 さららさん（2021年入学）

私は現在、交換留学生としてフィンランドのタンペレ大学で1年間学んでいます。「世界一幸福な国」と称されるフィンランドの実像を自分の目で確かめたいという思いから、この地を留学先に選びました。意気揚々と到着したものの、授業はもちろん、日常生活の些細な作業に至るまで未知のことばかりで、クタクタになる日も少なくありません。それでも、見慣れた環境から遠く離れた場所で、これまで知らなかった文化が「あたりまえ」のように育まれ、私が考える「あたりまえ」とは異なる形で社会が成り立っていることを思い知り、新鮮な刺激に満ちた日々を過ごしています。留学までの道のりは決して楽ではありませんでしたが、今では留学して本当に良かったと感じています。

オーストラリア　パースに留学

水城 球衣さん（2022年入学）

オーストラリアでの1年間語学留学を通して、たくさんの素晴らしい出会いに恵まれ、一生涯の経験をさせてもらったなと感じています。さまざまな国の人々が共存する多文化社会に身をおくと、自分の常識とは全く違う価値観に触れることができ、とても刺激的な日々を送ることができました。そしてより一層日本の素晴らしさを実感することができたと思います。また、私自身「英語を喋る」ことに対するハードルが下がり、楽しんで英語を学ぶことができ、新たな目標も見つかり改めて自分の人生に対する舵が切れそうです。

カナダ　トロントに留学

R.T.さん（2022年入学）

今回の留学は自分にとって、とても有意義になるものでした。国籍の違う人と語学学校に通い、仕事をして、遊んで、自分の当たり前が他の人の当たり前ではないことに気付かされる日々でした。また、客観的に日本を見ることで日本の素晴らしさに気付くことができました。

オーストラリア　ブリスベンに留学

高倉 桃さん（2022年入学）

海外留学は、自分が思い描いていたものとは程遠いものでした。留学が始まってすぐ、英語がうまく話せない中で友達作りや仕事探し、家探しに苦戦し、何度も挫けそうになりました。しかし、これらの挑戦が私にとって刺激となり、大きな成長へと繋がりました。特にDon't be shyという言葉に励まされ、たくさんの方々の支えを受けながら多くの困難を乗り越え、自分の弱さを克服して強くなれたと実感しています。グローバル化が進む現代社会で生きていくためには、英語力に加え、行動力、積極性、忍耐力、そしてDon't be shyの精神が不可欠だと強く感じました。

学内外で活躍する学生

フェアトレード認定大学を目指し、日々活動中の秋好ゼミ

福岡県初のフェアトレード大学の認定を受けることを目指し、目下活動中。キャンパス内でフェアトレードカフェを開催し、フェアトレードの認知度を向上させる活動をしています。フェアトレードを通じて、福大から九州、全国、世界に発信していくことを目指しています。そして何よりも、フェアトレードを通して、「人と人のつながり」を大切にする社会の実現に取り組んでいます！

パブリックスピーチの達人集団！！ 福田軍団（ゼミ）！

2024年の英語スピーチコンテストの全国大会では、福田ゼミから二組が選出（複数組が選出されているのは福大だけ）。数々のプレゼンテーションコンテストで輝かしい成績を残している福田ゼミメンバーですが、さまざまな活動を通して「世界に通じる」人材を目指しています。お互いが切磋琢磨しつつも、全員で全力でキャンパスライフを楽しんでいます。2024年には「福岡マラソン」にも参戦しました！

英語圏文化研修

University of Calgary

カナダのカルガリー大学での語学研修を、英語学科の選択科目「英語圏文化研修AB」（計4単位）として履修することができます。夏期休暇中の4週間、英語運用能力を高めながら、異文化を体験してみませんか。専任教員が引率するので、海外生活が初めてでも安心して参加できます。

#事前学習で準備、#事後学習で語学力維持、
#引率あり、#ホームステイ、#週末アクティビティ

Summer Homestay Adventure in Canada

English Department students, who sign up for this program, will spend four weeks in August studying English at the University of Calgary. You will make friends with a number of international students on campus and learn many things about Canadian culture as well. Your English skills will certainly improve and you will have wonderful experiences being in a homestay and enjoying the natural beauty of the Canadian Rockies. Some activities you will take part in include, for example, hiking, camping, horseback riding, and white water rafting. Your summer in Canada will be an adventure you will never forget. (Larry Kimber)

参加者のメッセージ

住吉 あいり（2023年入学）

実際に現地で英語を使うことに最初は慣れず、不安な気持ちでいっぱいでしたが、ホームステイ先で毎日家に帰るのが楽しくなるくらいホストマザーと会話をしたり、一緒に食事をしたりして、本物の家族のような関係になりました。学校では積極的に発言したり、様々な国の友達を作ったり、日本ではできないことにたくさんチャレンジしました！

山中 瑛太（2023年入学）

週末のアクティビティでカナダの大自然を満喫したり、仲間といろんな所に出かけたりして、日本とは違う現地の文化に触れながら、毎日新しい経験をすることができました。現地でしかできないことにチャレンジできる海外留学は貴重！充実したカルガリーライフを楽しんでください。

教員・研究の紹介

英語学科に所属している教員をご紹介いたします。
※2025年4月1日現在

■英語学

久保 善宏 教授　専門分野／ 英語学（統語論）

英語と他の言語における統語事象を考察し、各言語間に見られる統語的差異の説明を試みることによって、英語の普遍性と個別性の解明を目指しています。

古賀 恵介 教授　専門分野／ 英語学

英語の文法・語法の背後にある意味の構造を、認知言語学という分野の理論を用いて分析しています。

白谷 敦彦 教授　専門分野／ 英語学（語法研究）

英語を学習していてみんなが抱く疑問を解決すべく研究しています。例えば、朝・昼・夕はin the morning, in the afternoon, in the eveningなのに夜だけat nightなのはなぜか、「コンピュータで」はon/in/by/with a computerの4つがあるが、その使い分けはどうなっているのか、などです。

長 加奈子 教授　専門分野／ 英語学

英語の文法や語彙の意味、日本人英語学習者の英語の特徴をコーパスを用いて分析しています。

竹安 大 教授　専門分野／ 英語学（音声学・音韻論）

主に実験音声学・実験音韻論の観点から、英語と日本語の音声知覚・産出に関する分析を行っています。

スティーブン・ハウ 教授　専門分野／ 英語学（History of English）

I am currently working on primary universals of human language, which means the essential characteristics that all human languages share. I am also interested in how we communicate 'yes' and 'no'.

毛利 史生 教授　専門分野／ 英語学（意味論）

英語の研究を日本語やロマンス系言語に照らし合わせながらやっています。特に生成文法という理論に基づいて、形式と意味の関係を明らかにしようと奮闘しています。

森竹 希望 講師　専門分野／ 英語学（統語論）

英語や他のさまざまな言語に見られる事実を、生成文法の観点から説明しようと研究に取り組んでいます。特に、一致現象と名詞句に具現化する格、パラメーターに興味関心があります。

■スピーチ・コミュニケーション

一瀬 陽子 教授　専門分野／ 第二言語習得、PBL（課題解決学習）、キャリア教育、AI活用人材育成

母語を獲得した後、第二言語や第三言語を学ぶ際のメカニズムの解明について研究しています。

伊藤 益代 教授　専門分野／言語学、言語習得、統語論、スピーチ・コミュニケーション、語用論

子どもや大人がどのように意味論的、語用論的解釈をしているのか研究しています。面白い内容ですよ。

大津 敦史 教授　専門分野／ 英語教育学

e-learningを中心とするマルチメディアを利用した英語教育の研究と実践、その他英語教育方法論全般。

奥田 裕司 教授　専門分野／ 英語科教育法、学習環境デザイン、教材開発

英語学習者が学習を楽しい気持ちで持続的・自発的に進めていく為にはどうすれば良いのでしょう。「英語学習の楽しさを引き出す学習環境デザイン」に焦点を当てた研究や学習システム・教材開発を進めています。

ラリー・キンバー 教授　専門分野／ TESOL, Computer Assisted Language Learning (CALL)

The Role of Computers for Teachers and Learners in Second Language Education: Theory and Practice

ティム・クロス 教授　専門分野／ Critical Media Literacy, Cultural Studies

Critical Media Literacy, Cultural Studies, The Politics of Local Identity and National Culture, 茶道南坊流、博多祇園山笠

福田 慎司 教授　専門分野／ 英語教育学

多くの日本人にとって外国語である英語をどのように学べば効果的に身に付けられるのか研究しています。

松尾 キャサリン 教授　専門分野／ Speech Communication

Intercultural Communication and Intercultural Communicative Competence Development, Dialogic Linguistics and Meta-Linguistics, Development of a Dialogic Pedagogy for Foreign Language Education, Dialogic Analysis of Classroom Discourse, Debate Education, Communication as Persuasion, Democracies, Ethics and Rhetoric

スー・ジェシー 准教授　専門分野／ Sustainability in Everyday Life

I am interested in how urban culture changes though communication, in all its forms. My research focuses especially on 'sustainability in everyday life' happening within cities.

■イギリス文化・文学

園田 暁子 教授　専門分野／ イギリス文化・文学

イギリス・ロマン派を中心とする、18世紀～19世紀のイギリス文学を対象とし、著作権の成立・発展を思想史、文学史の中で捉えなおすことを目指して研究しています。

鶴田 学 教授　専門分野／ イギリス文化・文学

シェイクスピアを中心とした英国演劇について研究しています。

福原 俊平 教授　専門分野／ イギリス文化・文学

19世紀イギリスにおける、小説と文化の相互関係を研究しています。具体的には、トマス・ハーディという作家の小説を中心に、「文学と建築」、「文学と身体」などを研究テーマとしています。

渡部 智也 准教授　専門分野／ イギリス文化・文学

19世紀イギリスの小説家、チャールズ・ディケンズの小説を中心に研究しています。現在は、作品に描かれる「眠り」の描写の役割とその意味の解明を研究テーマとしています。

岩崎 雅之 准教授　専門分野／ イギリス文化・文学

20世紀のイギリス小説（E. M. フォースター、ヴァージニア・ウルフ、カズオ・イシグロなど）について研究しています。また、小説を題材にした映画も研究対象としています。

棚町 温 講師　専門分野／ イギリス文化・文学

イギリスの初期近代演劇（ウィリアム・シェイクスピアなど）と現代演劇（キャリル・チャーチルなど）について研究しています。

中越 亜理紗 講師　専門分野／ イギリス文化・文学

19世紀の英文学における日本と中国の表象を研究しています。特に、イザベラ・バードやアリシア・リトルなど、女性たちによる旅行記に描かれた異文化交流をテーマとしています。

舩田 佐央子 講師　専門分野／ イギリス文化・文学

19世紀イギリスの小説家ディケンズの文体について研究しています。主にメタファー（隠喩）やシミリー（直喩）など、作品の中に見られる比喩表現に着目し、認知言語学的観点からその仕組みを解明することをテーマにしています。

■アメリカ文化・文学

秋好 礼子 教授　専門分野／ アメリカ文化・文学

現在は、19世紀中・後期アメリカ文学における身体的差異表象に焦点を当てています。また、単行本として出版された小説だけでなく、当時の新聞や雑誌にも目を向けています。

大島 由起子 教授　専門分野／ アメリカ文化・文学

アメリカ文学（メルヴィル、北米先住民）について研究しています。

ジェファソン・ピーターズ 教授　専門分野／ アメリカ文化・文学

Children's Literature, Fantasy, Popular Culture, and Comparative Literature and Culture

高橋 美知子 教授　専門分野／ アメリカ文化・文学

スコット・フィッツジェラルドなどの20世紀のアメリカ小説を中心に研究をしています。最近は作品の中に隠れている弱者の声の発掘や、小説の成立と出版業界のかかわりなどに興味を持っています。

樋渡 真理子 教授　専門分野／ アメリカ文化・文学

アメリカ文学全般、特に南部文学とウィリアム・フォークナーという作家を研究しています。トランスナショナル文学、移民文学、アジア系文学にも関心を持っています。

光冨 省吾 教授　専門分野／ アメリカ文化・文学

アーネスト・ヘミングウェイ研究、ジャック・ケルアックを中心とするビート・ジェネレーション研究、アメリカ映画を題材にした文化の研究をしています。

坂井 隆 准教授　専門分野／ アメリカ文学、特に演劇分野

主な研究対象はアメリカの近現代演劇で、特に今は、アメリカを代表する劇作家テネシー・ウィリアムズに興味を持っています。また、舞台芸術自体の限界と可能性、つまり、舞台上で表現できるものをどこまで拡張できるのか、といった美学的な問題にも関心を持っています。

銅堂 恵美子 准教授　専門分野／ アメリカ文化・文学

ウィリアム・フォークナーやトニ・モリスンを中心に、人種やジェンダーの問題に興味を持って研究しています。

英語学科キャンパスライフ

4月	■ 入学式（前期開始） ■ 学科指導懇談会（新入生とアドバイザー教員の顔合わせ）
5~6月	■ ゼミコンパ、歓迎会等
7月	■ 前期試験
8月	■ オープンキャンパス（英語学科学生と教員が一緒に企画、運営します） ■ ゼミ合宿（3・4年生）（ゼミによってさまざまな企画が！） ■ 各種研修（学科・大学・個人で海外研修に参加する人もいます） ■ インターンシップ（企業研修）
9月	■ 後期開始 ■ 学内プレゼンテーションコンテスト（国際センター主催イベント）
11月	■ 学園祭（サークル、ゼミ、個人で参加）
12月	■ 卒業論文提出（4年次生）
1月	■ 卒論発表会（4年次生の発表に3年次生以下も参加）
2月	■ 各種研修／インターンシップ
3月	■ 卒業式／卒業パーティー

■英語学科の最新情報はどこで？

素早い学科情報の提供のため、Xアカウントを設置しています。
タイムリーな情報を毎日更新しています。

人文学部英語学科 公式アカウント
https://twitter.com/Fukudai_LE

リニューアルした学科ホームページでは、英語学科の学生の活躍やイベントに関する詳細な情報を掲載、随時更新しています。

人文学部英語学科 公式ウェブサイト
https://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/department/le

■卒業後の進路は？

多くの卒業生が英語を使う業界で活躍しています。中学、高校、大学で英語を教える卒業生、さらには英語コーチとして民間企業で働いたり、起業している人もいます。また、通訳、民間団体、商社のスタッフ、航空管制官、外国と関わる行政機関・民間団体のスタッフとして活躍している人もいます。

一見、海外と関係なさそうな企業や一般消費者になじみのない企業であっても、多くの企業が工場やビジネス拠点を海外に有しています。英語が使えるということは、それだけキャリアの幅が広がっていくということです。今後、加速度的に少子高齢化が進み、日本市場が縮小することが予想される未来において、海外のマーケットでも活躍できる人材が重宝されます。どのような業界に進むにしろ、共通して必要になるのは、基礎がしっかりした英語力です。「読む・聞く・書く・話す」の4技能のバランスがしっかりとれた英語力を養う必要があります。加えて、キャリア世界で活躍する上で欠かせないのがコミュニケーション能力であり、特に相手への「共感力」です。そのためには、相手の背景にある文化・宗教・風俗などをしっかり理解しておく必要があります。英語学科では、みなさんがキャリア世界でも十二分に活躍できる素地を身に付けるカリキュラムを準備しています。また、英語学科では、キャリア関連のカリキュラムやイベントも充実しており、先輩や専門家から多くのことを学ぶことができます。

■学生と先生の関係は？

英語学科の特徴は、何よりも「楽しく学生思い」の教員が多数在籍していることです。大学生活での悩みがあれば、いつでも相談に乗ります。また、学生３人から４人に対して１人の教員が指導する「アドバイザー制度」を導入しています。学習については勿論、学生生活全般についてもきめ細かに対応しています。

学生と教員間の距離が近いことも、英語学科の特徴です。卒業しても大学に遊びにくる卒業生もたくさんいますし、同窓会や記念パーティーも開催し、その度に昔話に花を咲かせていますよ！在学時も卒業してからも、英語学科はみなさんにとって「心のよりどころ」であってほしいと思っています。

ドイツ語学科

Department of German

専門教育科目カリキュラム ›
学科公式ウェブサイト ›

ヨーロッパの真ん中へ！　多様性を学ぶ「ヨーロッパ特別コース」
思考と表現の力を鍛える「ドイツ語圏コース」
ドイツ語をナビゲーターに、21世紀を歩いて行こう。

初歩から学ぶドイツ語と、幅広い運用能力を培う英語。留学生と多言語で学ぶ、日本と欧州文化。

確かな語学力と、多様な価値観の理解に裏打ちされた、他者との交渉に堪える力を身に付け、ドイツ系企業やドイツの日本企業で活躍しましょう。

大学院に進学することで、語学力と問題解決能力にさらに磨きがかけられます。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習し、ドイツ語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
C	態度・志向性	ドイツ文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

ドイツ語学科での4年間

	1年次　基礎教育	2年次　専門教育	3／4年次　専門教育・論文・就職	卒業後
ヨーロッパ特別コース	「ヨーロッパ学入門」でヨーロッパの成り立ちと今を学ぶ。「日本語リテラシー」で自国文化の発信力を養う。	留学生との共同授業、ドイツ語圏現地研修や留学を通じて、ヨーロッパの文化に親しみ、コミュニケーション、プレゼンテーション力を伸ばす。	ヨーロッパの言葉と文化の理解をさらに深め、英語やドイツ語を基底言語としたゼミを通じて、外国語でのプレゼンテーションや議論の能力を養う。	ヨーロッパと日本の懸け橋となって国際舞台で活躍する人に
ドイツ語圏コース	「ゲルマニスティク入門」でドイツ、スイス、オーストリアなど、ドイツ語圏文化への関心を養う。	ドイツ語圏現地研修でドイツを身近に体験し、文化の違いを肌で感じることで、複眼的思考力の基礎を作る。	地域文化・言語文化・表象文化に関するゼミを選択し、関心あるテーマを深めていく。ゼミでの討論や論文作成を通じて、問題解決能力を高める。	複眼的思考力を養いグローバル化社会を舞台に活躍する人に

※カリキュラム改正等により、変更の可能性があります。

取得可能な主な資格

- ☑ 中学校・高等学校教諭一種免許（ドイツ語）
- ☑ 日本語教員

在学生の声

2年次生　石司 茜莉 さん

（福岡県 福岡大学附属大濠高校出身）

意見交換がしやすい少人数授業。ヨーロッパ圏の学びでグローバルな視点を養う。

Q1 この学科の魅力は？

ドイツ語だけでなく、ヨーロッパ圏の文化や歴史、社会背景も研究できる点です。ヨーロッパでの難民保護活動に興味があり、ドイツ語を学びながらグローバルな視点を養える環境はとても魅力的でした。少人数授業のため先生方が一人一人に向き合ってくださり、アウトプットする機会が多く、着実に成長することができます。

Q2 好きな授業は？

ドイツ語、フランス語、英語を用いてそれぞれの文化を学ぶ「クロスカルチュラル・リテラシー」です。ヨーロッパ圏のマナーや考え方の違いについて日本と比較しながら、少人数グループで意見交換します。本授業はフランス語学科との合同学習であり、他学科とも交流できます。また、世界を俯瞰的に捉える視野と、異なる視点から考える思考力が向上しました。

私の時間割（2年次前期）

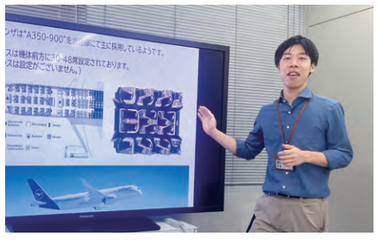
	月	火	水	木	金
9:00		インターミディエイト・イングリッシュⅠ	ヨーロッパ文化基礎論A		
10:40		コミュニケーション基礎A	ドイツ語ⅡB	プレゼンテーション基礎A	ドイツ語ⅡA
13:00	生涯スポーツ論		ドイツ文学史A	心理学A	ギリシア語A
14:40		ヨーロッパ学ICT ⅠA		アジアの文学A	インターミディエイト・イングリッシュⅢ
16:20				クロスカルチュラル・リテラシーA	

卒業生の声

留学をはじめネイティブのドイツ語に触れる機会多数。4年間で積み上げた経験が実を結び“好き”を仕事に。

留学や現地研修など、海外経験を積む機会が豊富であること、個性豊かで魅力的なネイティブの先生方に出会えること、「シュタムティッシュ」というドイツ語のクラブ活動があることが、本学科の魅力です。とにかくドイツ語尽くしの大学生活が送れたおかげで、語学力が着実に磨かれました。また、留学中にヨーロッパ各地を巡り、日本の魅力を再認識したことをきっかけに、旅を通じて日本を発信する一助になりたいと思い、旅行会社で働く意志を固めました。

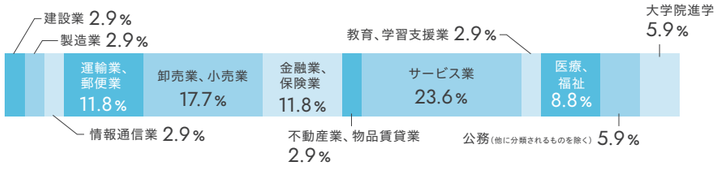
現在は旅行プランを立て、ツアー管理をする仕事をしています。現地への視察やドイツの大型クルーザーの受け入れなど「ドイツ語を話せるから」と任される仕事も多く、4年間の経験がリアルに生きていると感じています。また、外国人と関わることが多い本学科では、コミュニケーション能力も高められ、社会に出てからとても役立っています。



樋口 彦士 さん（2023年卒業）

株式会社 JTB

主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は 53ページ

学びの流れ

1年次生　学びのはじまり

「ドイツ語IA, IB」でドイツ語の基礎を身に付けます。「ゲルマニスティク入門」または「ヨーロッパ学入門」でドイツ、ヨーロッパについて広く学びましょう。4年間、ドイツ語圏および、ヨーロッパについて段階的かつ専門的に研究するための第一歩です。

2·3年次生　現地研修と留学へ

「基礎講読」、「コミュニケーション基礎」から「講読」、「プレゼンテーション理論と実践」までの授業でドイツ語応用力を獲得し、「演習I」、「概論」、「特講」で専門的知識を習得しながら、考える力とまとめる力を伸ばします。「現地研修」（短期留学）でドイツ・ヨーロッパを体感することも、半年か1年間の交換留学をすることも可能です。

留学について

短期留学

費用	50万円程度（授業料とは別に負担）
場所	イエナ大学（16世紀創設の伝統校）、ホテル滞在
期間	8月の30日間（授業約3週間、研修旅行4～5日）
事前学習	出発までに、渡航とドイツ滞在に必要となる基礎知識を習得します。
現地サポート	ドイツ語学科専任教員が引率。ただし、週末は自由行動のため、旅行に出た学生等には電話等で対応。

交換留学

協定校	❶フリードリヒ・シラー大学（イエナ大学） ❷デュースブルク・エッセン大学
期間	1学期（半年）または2学期（1年）
派遣定員	各大学5人（計10人／1年）
出発	秋（10月）または春（4月）
出願資格	成績等に関する制限あり
その他	大学からの渡航費補助あり

［留学実績］2019年：10人（❶5 ❷5）
2020/21年：新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止
2022年：8人（❶5 ❷3）
2023年：14人（❶7 ❷7）
2024年：6人（❶1 ❷5）

＼ドイツ語で発表！／

＼ゲーテとシラーの像／

＼サッカー観戦も／

＼ヴァルトブルク城／

「フリードリヒ・シラー大学イエナ」留学体験記

濱地 七海 さん（2022年入学）

私は2023年10月から2024年7月までの10ヶ月間、交換留学制度を利用してドイツのイエナ大学へ留学しました。福岡大学の交換留学制度への応募を決めたのは、勉強してきた自分のドイツ語力をさらに伸ばしたかったからです。もともと人見知りだった私ですが、留学中は今まで興味がなかったことにも興味を持ってみることを心がけました。イエナには多くの留学生がいて、たくさんの新しい出会いがあります。授業ではグループワークも多く、相手に興味を持って積極的に質問することで、お互いに打ち解けるまでそれほど時間はかかりません。私も新しい友人たちと、放課後はアイスを食べに行ったり、夜ご飯を一緒に食べたりするほど仲良くなりました。彼らとは、帰国した今でも連絡を取り合っています。

日本を出ることは私にとって初めての経験で、最初は確かに不安なこともありました。しかし今では、留学をして良かったと自信を持って言えます。

3·4年次生　ゼミで専門性を高めよう

金山ゼミ

金山ゼミ紹介

近藤 奈々 さん（2022年入学）

金山ゼミでは、100年以上前にドイツ語で書かれた書籍『アルト・ハイデルベルク物語』を原文で読破します。読破というと難しく聞こえるかもしれませんが、実際には、金山教授が抜粋して挿絵や紹介文を付けてくださったオリジナル教材で学ぶため、安心して楽しく取り組めています。

金山教授はAI技術にも精通しており、自作動画などを授業にも活用されています。ドイツに近代的手工業製品としてのルーツを持つ球体関節人形の「ちよ様」たちがTA（ティーチングアシスタント）としてドイツ語について丁寧に説明してくれる動画や、教授自身がAIアバターとして登場して仮想空間から次の課題の指示を出す動画も授業中に見ることができました。

3年次からは卒業論文の執筆にも取り掛かり、私は今、教授の指導のもとで自分の研究を段階的に進めているところです。

有馬ゼミ

有馬ゼミ紹介

牛川 真生 さん（2022年入学）

有馬ゼミでは、各自が興味を持つドイツ関連のテーマについて調査や考察したことを、授業中に口頭発表します。発表後には他の参加者から意見や助言をもらえるので、毎回、自分一人では気が付かなかったような観点からの「気付き」が得られます。また、発表はレポート執筆を通しても行われます。頑張って書いたレポートを先生や他のゼミ生に褒めてもらえると、とても嬉しいです。そのような気持ちが、さらに良い研究をしようというやる気につながっていくのです。

片岡ゼミ

ドイツ料理を日本で再現！

吉村 香澄 さん（2022年入学）

片岡ゼミではそれぞれが興味のあるテーマを選んで研究し、発表しています。研究テーマはグリム童話、ドイツの教育事情や動物保護など多岐にわたっており、互いに疑問点を出し合いながら知識を深めることができます。私の研究テーマは「ドイツの料理は日本で再現できるか?」というもので、ドイツで購入した料理本にある料理を実際に作り、自宅のキッチンでどれだけ本場の味を再現できるかを試しています。料理という観点からドイツと日本の文化や価値観の違いに迫ることが最終的な目標です。ドイツと日本は遠く離れていて文化や歴史も全く違うからこそオリジナリティのあふれる研究ができ、とても楽しいです！先生方の手厚いサポートもあり、充実した研究ができる環境です。

カスティヨゼミ紹介

カスティヨゼミ紹介

池尻 圭佑 さん（2022年入学）

カスティヨゼミでは、ドイツ映画について歴史的、また文化的観点から幅広く議論します。例えば、映画『ザ・ウェイヴ』（Die Welle）は集団心理や1人の指導者による独裁の危険性などが描かれている作品でした。独裁体制にある集団は一見すると一体感があり、団結力が強く感じられますが、率いる指導者の考え方や言動によっては、その一団は良い方向にも悪い方向にも傾いてしまうことに問題があります。また、『NAPOLA』はナチスのエリート士官養成学校ナポラの若者たちが、学校での教育に対する疑問や良心の抑圧、偏った思想に悩む作品でした。これらのようなドイツ映画を資料として、カスティヨゼミではドイツの歴史やネイティブのドイツ語を学んでいます。

ドイツ映画に興味がある、ネイティブによるドイツ語会話に興味があるという人にはおすすめのゼミです。

4年間の集大成　卒業論文と卒業研究

堺ゼミ

『精神分析入門講義』研究

上野 恭輔 さん（2021年入学）

私の卒業論文は、ジークムント・フロイトの『精神分析入門講義』における「失錯行為」、「夢」、「神経症」という3つの基本概念を整理し、それらの現代的意義を考察したものです。19世紀末から20世紀への世紀転換期に「無意識」の概念を確立したオーストリアの精神科医の研究成果を現代に読み解くには、資料を読み解いて、それを深く理解する必要があります。執筆はとても大変な作業でしたが、論文を完成させた時には大きな達成感を得ることができました。また、完成後に先生方からアドバイスをいただき、この分野の研究の重要性も感じました。卒業後も研究し続けたいと思っています。

永田ゼミ

ドイツの農業デモについて

江頭 碧斗 さん（2021年入学）

私は2024年初頭のドイツやヨーロッパ各国における大規模な農業デモがどのようにして起きたのかを卒業論文のテーマにしました。このテーマに決めた理由は、インターネットで偶然見つけたドイツの農家のデモの映像がかなり印象的で、彼らがなぜこのように過激な抗議をしているのか気になったからです。論文のテーマは案外私たちの近くに見つけることができるかもしれません。

論文ではデモの具体的な内容や政府や農家側の意見をドイツのニュースサイトを使って詳しく調べました。デモの背景にはドイツ政府による農家への燃料補助の撤廃やウクライナに対する農作物の関税停止のような政策や規制があり、その多くは環境問題とも関連していることから、こうしたさまざまなファクターを顧慮せねばならないこれからの農業のあり方やこれを支える基礎研究についての考察も行いました。

授業では卒業論文の進捗状況の発表や他のゼミ生とのディスカッションがあり、私の発表時には、デモの是非やアメリカ大統領選挙の結果による影響など私自身が思いつかなかった質問も受け、こうした事柄をも論文に反映させたことで内容の幅がさらに広がりました。また、他のゼミ生の発表を通じてドイツに関するさまざまな知識を吸収することができるのも楽しかったです。

卒業後のさまざまな未来　君たちの羽ばたく先は

ドイツ鉄道ICE 1等車両乗務員として勤務中！

松浦 亜沙子 さん（2011年3月卒業、ドイツ在住）

「英語以外の語学を勉強してみたい」という動機で入学したドイツ語学科では、語学だけでなく文化や歴史を学び、今まで知らなかった世界を知ることができました。特に2年次に参加した現地研修は、短期間ではあったものの、私にとって大きな刺激となりました。その際に初めてドイツを鉄道で旅行をし、鉄道旅行に魅力を感じたことから、ゼミ論では【鉄道】をテーマに日独比較をしました。

大学卒業後、ヨーロッパ旅行を専門とする旅行会社に就職し、その間にドイツ支店へ1年出向の機会を得ました。その後、再度ドイツ語をしっかりと学びなおすために語学留学し、現在はドイツ鉄道（Deutsche Bahn）に転職して、高速列車ICEの1等車両の乗務員として勤務しています。学生時代から好きだったドイツ鉄道旅行に職員として携わることができていることにとてもやりがいを感じていますし、何よりドイツ語学科での学びや経験が今につながっていると実感しています。

ドイツと日本を結ぶ貿易商社を経営

篠原 友美 さん（2001年3月卒業、株式会社ブルックスジャパン代表取締役）

入学前は「何か海外と関わる仕事がしたい」という漠然とした夢を持っていただけでしたが、在学中にドイツ語やドイツ文学だけでなく、ドイツの歴史・文化・習慣等を学ぶことができたこと、夏期ドイツ現地研修（当時はハンブルク大学）を経験させていただいたことがその後の人生で大いに役立つことになりました。

卒業後、ヨーロッパやアジア諸国の製品を輸入する仕事に就き、2007年に輸出入取引を中心とする商社を設立しました。

現在取引国は世界30カ国以上に渡りますが、主軸となっているビジネスはドイツの工業用機械を輸入し、日本の産業へ卸売する事業で、売上の約半分を占めています。

在学中に学んだことがドイツとのコミュニケーションを円滑にし、ビジネスの成功に導いてくれています。

多言語環境で国際貿易

重松 あや さん（2017年3月卒業、西日本鉄道（株）国際物流事業本部）

私は現在、国際貿易の仕事をしています。業務内容は、貨物を航空便・海上便のどちらで輸送するかを提案したり、海外駐在事務所の設立に携わったりと、多岐に渡っています。そうした業務のなかで共通しているのは、毎日外国語を用いている点です。

外国語を活かせる職業に就きたいと考えていたこと、また、もともとヨーロッパに興味があり、ヨーロッパで中心言語として話されているドイツ語を学びたいと思ったことから、西日本の私立大学で唯一、専門の学科でドイツ語を学べる福岡大学に進学しました。大学3年次には、ドイツへ半年間の短期留学を果たし、憧れだったドイツでの生活を存分に満喫しつつ勉学に励みました。

この経験を通し、価値観や知見が広がったのはもちろん、やはり語学力を向上させることができました。日々の業務でもその経験を活かせたことで、2023年4月から3年間、タイのバンコクで駐在員として働く機会を得ました。ドイツ語圏ではありませんが、異文化理解力を評価してもらえた結果だと思います。今後は現地スタッフと協力し、より多くのお客様に西鉄の輸送サービスを使ってもらえるよう邁進したいと思っています。

英語の先生になった先輩も

ドイツ語学科では「ドイツ語」に加えて「英語」の教員免許状（中学校・高等学校教諭一種）を取得することができます。そのためには成績が一定の基準を満たす必要があり、教職課程の勉強をしながら二つの外国語を本格的に学ぶには相当の努力も必要です。しかし、チャレンジする価値は大いにあります。ドイツ語と英語は近い関係にある兄弟のような言語で、よく似ているけれどさまざまな違いも見られます。そこからは、時代とともに移り変わる言語の姿が見て取れます。ドイツ語を学ぶことで、英語の姿がくっきりと見えてくるのです。ドイツ語学科の先輩の中には卒業後に大学院に進み、ドイツ語をより深く研究しながら英語の先生になった人もいます。ことばの面白さを生徒たちに伝える仕事に就く ― ドイツ語学科での学びは、その出発点になるのです。

課外活動

■ドイツ語クラブ「シュタムティッシュ」活動中！

多彩なイベント

ドイツ語学科では、授業時間外のドイツ語学習やドイツ文化体験をサポートするドイツ語クラブ（大学公認愛好会）を主宰しています。ドイツ語映画鑑賞会、新歓コンパやピクニック、自作ソーセージやシュニッツェル（カツレツ）の料理会、合宿、仮装パーティー、ドイツの卓上ゲーム会、ドイツ留学相談会、七隈祭への出店、クリスマス会などのイベントを催しています。

■チャレンジ！

独検1級に合格！

ドイツ語技能検定試験対策自主勉強会をしたり、通訳としてのインターンシップ（企業研修）にも挑戦したりしています。ドイツ語学科で学ぶと、卒業までに独検2級レベルの力がつくことが期待されます。中には3・4年次で準1級・1級に合格する人もいます。

詳しくはドイツ語クラブ
ウェブサイトをご覧ください。

教員・研究の紹介

※2025年4月1日現在

金山 正道 教授

専門分野
「ドイツ文学」

福岡で3代100年にわたり教育研究に従事してきました。祖父は西南学院大学教授（英文学）、父は修猷館高校教諭（日本数学会会員）です。私の授業のモットーは「真剣に、楽しく」です。

マーレン・ゴツィック 教授

専門分野
「比較文化（日独）」
「日本学」「社会学」
「芸術学」

ドイツと日本を比較しながら現代社会や芸術の研究をしています。

堺 雅志 教授

専門分野
「ドイツ・
オーストリア文学」

ドイツ文学の中でも特に世紀末ウィーンを中心とするオーストリア文学が専門。ドイツ語圏の映画、スポーツ、衣食住についても興味を持っています。

冨重 純子 教授

専門分野
「ドイツ文学、とくに
ユダヤ系ドイツ語文学、
東欧のドイツ語文学」

ハイネのようにユダヤの出自を持ち、ドイツ語で書いた作家、東欧にも広がっていたハプスブルク帝国出身の作家たちなどの研究をしています。ヨーロッパの映画も、研究テーマの一つです。

永田 善久 教授

専門分野
「ドイツ文学」

ヤーコプ・グリム（グリム兄弟の兄）の思想を研究しています。テキストマイニングの技術を語学文学研究に応用することも試みています。

森澤 万里子 教授

専門分野
「ドイツ語学」
「歴史社会言語学」

場面や相手に応じたことばの使い分けによって人はどのように人間関係を築こうとするのか、その分析をテーマの一つとしています。

有馬 良之 准教授

専門分野
「ドイツ事情」

学校制度を中心とした若者のあり方、環境、家族、犯罪といった問題をできる限り広い視野で考察しています。

片岡 宜行 准教授

専門分野
「ドイツ語学」

ドイツ語の文はどんな仕組みになっているのか、文の形と意味はどう関わっているのかを研究しています。外国語学習法の研究・開発にも関心があります。

平松 智久 准教授

専門分野
「ドイツ文学」
「ドイツ語教授法」

18～19世紀に活躍したゲーテによる代表作『ファウスト』の研究を中心として文学と自然学（自然哲学・自然科学）の関連を探っています。

アンドレ・ライヒャルト 准教授

専門分野
「ドイツ文学」
「言語学」「メディア学」
「ドイツ語教授法」

記号学を用いて日本のサブカルチャーの研究をしています。

スサナ・デル・カスティヨ 講師

専門分野
「ドイツ語学」

豊かなオノマトペ（擬声語・擬態語）を持っている日本語がドイツ語でどのように翻訳されているかを研究しています。

菅谷 優 講師

専門分野
「ドイツ文学・思想」

ユダヤ系ドイツ人であり晩年はパリで執筆をつづけた批評家ベンヤミンを出発点に、「ドイツ」なるものの固有性を「フランス」との比較において探究しております。

フランス語学科

Department of French

専門教育科目カリキュラム ›
学科公式ウェブサイト ›

ヨーロッパを深く学ぶ「ヨーロッパ特別コース」と フランスをさまざまな角度から多面的に学ぶ「フランス語圏コース」。言葉を武器に、自由で個性的な生き方を見つける。

フランス語の習得を通して、長い歴史を持つフランス、そしてヨーロッパの文化に触れ、これを理解し、深く味わうとともに、ネイティブスピーカーの教員をはじめ、ヨーロッパからの留学生や、留学先で知り合う人々との出会いと対話を通して、自ら考え発言する力を磨きます。

4年間で養われる自立の精神と確かなフランス語運用能力とが、国内外での社会貢献を支える礎となるはずです。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習し、フランス語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
C	態度・志向性	フランス文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

フランス語学科での4年間

	1年次 基礎教育	2年次 専門教育	3/4年次 専門教育／論文・就職	卒業後
ヨーロッパ特別コース	「ヨーロッパ学入門」でヨーロッパの成り立ちと今を学び、「日本語リテラシー」で日本を発信する能力を養う。	留学生を交えた環境でコミュニケーション、プレゼンテーションの基礎力を伸ばす。	外国語運用の経験を積みながらヨーロッパ文化への理解をいっそう深め、次のステージへの揺るぎない土台を築く。	高次のコミュニケーション能力を武器に国際舞台で活躍する人へ
フランス語圏コース	フランス語の基礎を固め、フランス文化の豊かな広がりに目を開く。	週4回の密度の濃い授業とフランス語圏現地研修でフランス語の語感を磨く。	少人数制ゼミに所属し、各自の関心に沿った研究を通して論理的思考と正確な意思伝達の能力を獲得する。	フランス語に堪能で自由・独立・個性を尊ぶ知性と品格ある人へ

※カリキュラム改正等により、変更の可能性があります。

取得可能な主な資格

- ✓中学校・高等学校教諭一種免許（フランス語）
- ✓日本語教員

在学生の声

3年次生 松村 桃里 さん

（福岡県 育徳館高校出身）

フランス語の学びで高まる学習意欲と、アウトプット主体の授業で養われる思考力。

Q1 この学科の魅力は？

少人数の授業が多く、積極的な発言と意見交換ができる環境が魅力です。授業では学びの中で点と点がつながったような感覚がよくあり、先生方の連携で記憶に定着しやすいようなカリキュラムが組まれているため、フランス語の上達が格段に早いです。理解が深まることの楽しさを実感し、学習意欲が尽きない毎日です。

Q2 好きな授業は？

フランス語の文章を読解し、その内容に対する意見をまとめてフランス語で発表する「プレゼンテーション理論と実践A・B」です。フランスの習慣やマナー、文化などをテーマに考えを深めていきます。本授業によって、日頃から自分の意見を持つための関心のアンテナが強くなり、物事のつながりを意識して考えを整理しておく思考力も身に付きました。

私の時間割（3年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00		日本語学概論Ⅰ		コミュニケーション理論と実践A	プレゼンテーション理論と実践A
10:40		ヨーロッパ地域文化特講A	心理言語学特講	時事ヨーロッパA	日本語教育法Ⅰ
13:00	フランス文法論A	日本語史Ⅰ		フランス語学概論A	
14:40	演習ⅠA	フランス語圏言語文化講読C			
16:20		日本語教育法Ⅲ		日本文学概論Ⅰ	

卒業生の声

少人数での学びや語学研修でフランス語を修得。多国籍スタッフが働く空港業務でスキルを発揮。

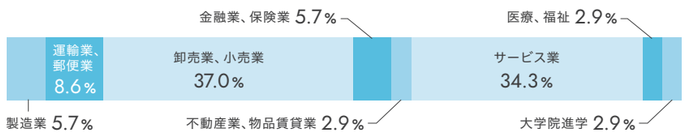
語学力を生かし、さらなる可能性を広げたいと考え、国際線のグランドスタッフとしてお客様の空の旅をサポートしています。英語やフランス語でお客さまと話すたびに、本学科での学びが生かされていることを実感する日々です。

英語に次ぐ国際言語とされるフランス語ですが、多くの学生がゼロからスタートします。しかし、先生方が一から丁寧に指導してくださるので安心して取り組めます。また、少人数で学ぶため質問がしやすい環境が整っていることも特長の一つです。さらに、英語の運用能力を培う語学強化プログラムや日本を多言語で発信する能力を養える「日本語リテラシー」「クロスカルチュラル・リテラシー」などの科目が充実しており、将来への選択肢が広がります。2年次には語学研修でベルギーやフランスを訪問したり、フランスからの交換留学生と共にディスカッションしたりと、養ったスキルを試す機会が多いことも魅力です。

森近 雛音 さん（2024年卒業）

スイスポートジャパン株式会社

主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は 53ページ

Pick Up 科目

コミュニケーション基礎

オーラルコミュニケーションに焦点を絞った教科書を使用し、生きたフランス語を学びます。歌やゲームなどを通じて楽しく学ぶことをモットーとし、フランスやベルギーの大学からの留学生も交えたグループの気楽な雰囲気での発話練習を積み重ねることで、まずは外国語学習につきものの「間違えたら恥ずかしい」を突破します。身近なテーマでのフランス語での発表を通じてプレゼン力も鍛えて、めざすはスピーチコンテスト優勝！

ヨーロッパ地域文化概論

「シータク」は「タクシー」、「グラサン」は「サングラス」など、芸能・マスコミ関係の業界用語でおなじみの逆さ読みコトバ（倒語）。こうした現象はフランスでも観察され、例えばfemme（ファム「女」）はmeuf（ムフ）、merci（メルシ「ありがとう」）はcimer（シメール）と言い、若者ことばとして独自の発展を見せているのが興味深いところ。フランスだけでなく、ドイツにも目配せしながら、世代、社会階層、ジェンダーなどと結びついたことばと人々のアイデンティティの面白い関係を深堀りします！

DIKAV
dikav（ディカーヴ）は放浪の民ロマ民族のことばで「見て！」「注目！」の意。

ヨーロッパ表象文化概論

シェークスピア、モリエール、ボーマルシェ… 喜劇は面白い！ ドタバタが笑いを誘うから？ 喜劇はそれ以上に偏見を排し世相に切り込み、時の権力を痛烈に皮肉ることで、よりよい社会を模索する芸術メディアです。イギリス、フランス、イタリアの古典演劇からオペラ・映画まで、現代に脈々と受け継がれるヨーロッパ喜劇の伝統に、その鋭い観察眼と批判精神を学び、いかにわれわれ日本社会に活路を見出せるか、考察を深めていきましょう。

クロスカルチュラルリテラシー

ドイツ・フランスなどヨーロッパのみならず韓国・中国などアジアからの留学生と、日本語・英語を中心に仏語・独語も交えて異文化理解に努めます。自然観・宗教観から教育・移民・環境問題までさまざまなテーマを各々のグループで自由に話し合い、地域ごとのローカルな多様性を知った上で、東西の違いを超えたグローバルな普遍的価値を探ります。留学生も日本の学生もお互い拙い外国語だから、間違えても平気、でも通じ合えたときの喜びは格別です。

ゼミ紹介

鈴木ゼミ　**有江 菜花** さん［福岡女子高校卒］

フランスの哲学者の文献抜粋を原語で読み、先生がじっくり噛み砕いて説明して下さるので、身体論に関する難しい概念も理解できるようになります。舞踊論では実際に先生がタンゴを踊って下さるなど、セラピー的な面も含め自ら感じとるような授業を体験できます。また自分の好きなものや知りたいことを自由に研究テーマに選び、先生のきめ細やかな指導が受けられます。また発表の分かりづらい部分、足りない部分はないかゼミ生同士話し合い、自分の研究に磨きをかけることができます。

村石ゼミ　**浜形 洋芙** さん［福岡大学附属若葉高校卒］

名作『星の王子様』の作者サン＝テグジュペリのエッセー『人間の大地』の輪読に取り組みます。先生のサポートを受けつつ互いの考えを共有することで、多様な視点から作品読解が深められます。死と隣り合わせのパイロットが空から見晴るかす世界は、私たちの日常感覚では得られないもので、人間の高貴な精神にふれた気がしました。また一見難しそうな卒業論文も先生が丁寧に個別指導して下さるので、興味関心に従い自分ならではのテーマを選び、安心して書き進められます。

本学科では、学生同士の交流を深めるために
新入生歓迎会やクリスマス会など
さまざまなイベントを開催しています！

／クリスマス会の様子／

現地研修・交換留学

短期語学研修

本学科では、フランス地方都市アンジェで約2週間、パリで約1週間、合わせて3週間の集中フランス語研修を「フランス語圏現地研修」としてカリキュラムに取り込み、単位を認定しています。

概　要			
場所	アンジェおよびパリ	**費用**	約50万円（大学からの渡航費補助あり）
期間	2月中旬～ 3月初旬の3週間（春季休暇期間）		

ロワール川流域の風光明媚な伝統的地方都市にて2週間強のホームステイと語学学校での集中講座。週末には世界遺産モンサンミシェルとノルマンディー海浜への小旅行、地元の名物料理を楽しむ料理教室も。その後は1週間弱のパリ滞在で自由に旅をアレンジ。

フランス最古のタペストリーもある世界遺産アンジェ城にて

モン・サン＝ミシェルにて

料理教室でマカロン作り

シャンゼリゼ通り、凱旋門前で

現地研修体験記　山田 凱楓 さん［柏陵高校卒］

初めはホストファミリーの会話の速さについていけませんでしたが、ゆっくり話しかけてくれて、簡単なフレーズで質問や会話を自分からすることで次第に意思疎通できるようになりました。滞在中、平日は学校に通い、放課後は友達と街へ出かけ、休日にはサッカー観戦に連れて行ってもらい、料理教室でマカロンを作ってみんなで食べ、海辺への小旅行もありました。街には歴史ある建物や教会、城があり、多国籍の人々が行き交い、日本とは異なる文化を体験できました。パリではテレビや教科書で見た風景を実際に目にし、幻想的な気分になりました。現地の人々が挨拶を大切にしていると感じ、自分から挨拶するよう心がけると自然に会話が生まれ、多くの交流ができ、充実した3週間を過ごせました。

長期交換留学

短期ではもの足りない、もっと未知の世界を探索したいという人には、交換留学制度により、フランスまたはベルギーの協定大学で約1年間の長期留学が可能です。

クラスと寮の仲間との忘れえぬ時、忘れえぬ絆

概　要			
協定校	❶パリ・シテ大学（フランス） ❷セルジー・パリ大学（フランス） ❸リヨン政治学院（フランス） ❹ルーヴァン・カトリック大学（ベルギー） ❺リエージュ大学（ベルギー）		
期間	9月から1年間	**費用**	約200万円程度、大学からの渡航費補助あり、フランスの自治体の奨学金申請も可
派遣定員	❶❹❺2名 ❷1名 ❸6名		
出願資格	成績等による制限あり		

［留学実績］ 2022年度：4名（❸4 ❹2）　2023年度：1名（❸1）
2024年度：4名（❶1 ❸2 ❹1）

交換留学体験記　小野 柚香 さん［大分舞鶴高校卒］

「留学に行って良かった」、この言葉に尽きます。留学に行かないと出会うことのなかったフランス人の友達、日本人の留学仲間、見ることのできなかった景色、感じることのできなかった日本とフランスの違い、フランス人の「自分を1番大切にする」性格等、今まで自分の中に無かったいろいろな新しいこと・人に出会うことができます。また、マイノリティとして生きることで、自分を見つめ直し自分と向き合う良い機会になったと思います。「留学に行けば必然的に語学力が上がる」というのは間違いです。どれだけ語学力が上がるか、どれだけ濃い留学生活になるかはその人の頑張り次第です。皆さんの挑戦を応援しています！

卒業論文・卒業研究

卒業論文 フランス文学の金字塔『レ・ミゼラブル』を極める

大場 麻由 さん［筑前高校卒］

『レ・ミゼラブル』は、革命期のフランスを背景に、理不尽に投獄された男が司教との出会いをきっかけに正義に目覚め愛と信念を貫く物語です。ミュージカルや映画を通じてなじみはあったのですが、原作にはたったの二時間には収まりきらない深みがあり、作者ユゴーの社会政治思想が色濃く反映され、罪の意識や利他感情など人間精神の機微が掘り下げられていました。また文学に精通する先生の指導やゼミ仲間との意見交換を経て考察が深まり、より充実した論文が書けたと思います。

卒業研究 得意のイラストで絵本創作！

大久保 理世 さん［香住丘高校卒］

学科学習の中で得た知識、三島やバタイユなど個人的な読書体験を通じて、また日々の生活の中で感じたことを4年間の集大成として、文章と絵の両方を用いて表現し、幅広く伝えられたらと思い、絵本を制作しました。自分の抱く「主体」と「客体」、それに伴う性のイメージ、社会道徳と審美性など、対立するものを自ら創造した各々のキャラクターやそれらが織り成すシチュエーションに宿らせて、一つの絵本に閉じ込めること、その方がテーマに従って自分の意見を述べる論文よりしっくり来ると感じたからです。快楽の蕩尽に身を委ねる夜の世界、善悪の彼岸にある耽美的な境地を自分なりに描き出せたと思います。

進路・就職

本学科ではフランス語、それに英語の教員免許が取得でき、それを生かして各種学校の教員となった卒業生も少なくありません。その他、出版、放送などのマスコミ、銀行、商社、旅行会社、金融関係など、幅広い分野からの求人があります。

■ 主な進路・就職先

一般企業	マスコミ、旅行会社、商社、銀行 など	官公庁などの専門職	国家公務員（国税庁）、地方公務員（消防、警察） など
教育研究分野	教員、大学職員、日本語教員（フランス、タイ、韓国） など	大学院への進学	本学大学院人文科学研究科（仏語学仏文学専攻）、他大学の大学院

■ Graduate's Voice 卒業生の声

辻 沙織 さん
JR九州サービスサポート株式会社
［光陵高校卒］

フランス語学科での学びは私の人生にとって有意義なものになっています。フランス語をはじめとして、そこで身に付けた事が日々の仕事に生かされているからです。現在は、駅係員として乗車券の販売や改札口での案内をとおして、お客さまの旅のお手伝いをしています。毎日数千人の方に利用していただいており、フランス語圏のお客さまもいます。特に印象に残っているのは、パスポートを車内で紛失し、困り果てていたスイス人のお客さまにフランス語で対応し、無事パスポートを届ける事ができた時です。この時は、フランス語学科で学んで本当によかったと実感しました。フランス語学科では、言語だけではなく、文化、社会、芸術等さまざまなことを学べます。特に、3年生からのゼミでは、少人数のため先生に質問がしやすく、同じゼミ生とも仲が深まり、充実した生活が送れます。

私は在学中に魅力を感じたフランスについて生涯学んでいくつもりです。皆さんもぜひフランス語学科で夢中になれることを探す旅に出発してみましょう！

En route!

宜桐 肖 さん
福岡大学大学院
人文科学研究科博士課程 後期
［長春外国語学校卒］

私が日本でフランス語を学ぼうと思ったのは、いろいろな外国語に興味を持っているという理由でしたが、日本語以外の言語でフランス語を選んでよかったと思います。福岡大学のフランス語学科ではフランスの他に、ベルギー、カナダといったフランス語圏の文化の魅力を知ることができ、フランスに留学すること、さらに大学院に進むことを決めました。映画鑑賞などのイベントにも参加できて、学科でフランス語とフランス語圏の文化や文学などを学ぶことができ、充実した大学生活を過ごすことができました。交換留学の制度を利用してセルジー・ポントワーズ大学に留学することもできました。フランスの大学生と一緒に授業を受けたり、各国の留学生とフランス語の授業を受けたり、さまざまな人間と出会い、私の人生にとって重要な経験でした。勉学以外には、フランスだけではなく、ドイツ、スペイン、イタリアなどの国に友人たちと旅行しました。留学のおかげで、今までとは違う世界に触れ、視野を広げ、自分にはまだ多くの可能性があると感じています。

現在、福岡大学大学院人文科学研究科仏語学仏文学専攻博士課程後期で、フランス語を対象とする言語学の研究をしています。フランス語学科で身に付けた知識と経験が生かされていると実感しました。大学院にも留学制度があるため、チャンスがあればぜひもう一度留学に行きたいと思っています。

教員・研究の紹介

フランス語学科に所属している教員をご紹介いたします。
※2025年4月1日現在

辻部 大介 教授

研究テーマ
フランス語文献学、モンテスキューの宗教思想

真・善・美を追求し、正義と平和を実現することが、人間一人一人にとっての究極の課題である、という考えが、西洋文明の最良の部分を形づくっています。この文明の一翼を千年以上にわたり担ってきたフランス語を深く学ぶ経験は、大学卒業後どのような道に進むのであれ、あなたの人生を照らす光となり続けることでしょう。

川島 浩一郎 教授

研究テーマ
フランス語の文法研究、言語研究

日本人より日本語に詳しい外国の方って、カッコいいと思いませんか。受講者に「フランス語ネイティブよりもフランス語に詳しい日本人」を目指してほしい、そんな気持ちで文法の授業をしています。フランス語は、話されている国や地域が英語の次に多く、文法や単語が英語に似ていて勉強しやすい言語です。それでいてフランス語が得意な日本人は比較的少数なので、希少価値もあります。学ぶことにメリットの多い言語だと思います。

テクセラ・ヴァンサン 教授

研究テーマ
詩、19・20・21世紀ヨーロッパ文学と哲学、映画、音楽

フランス語とフランス文化の知識は、世界の多様性を発見する手段でもあるのです。他者を見続けることもなく、遠くにある他の場所を見ることもなく、星を愛で続けることもなしに、一体どうやって人間としての一生を過ごすことができるでしょう。作家ヴィクトル・ユゴーが書いているように、人間とは「星に恋するミミズ」なのです。

山本 大地 教授

研究テーマ
フランス語の語彙、会話の研究

スピーチコンテストで輝く、留学先で外国人の友人を作る、語学研修でホームステイする、専門的な知識を身に着ける、高度な検定試験に合格する・・・これらすべてを実現できる道筋が、フランス語学科には用意されています。必要なのはあと一つ、皆さんのやる気だけです！やる気のある皆さんをお待ちしています。

鈴木 隆美 教授

研究テーマ
20世紀フランス文学・思想、身体論

フランスには、洗練されたファッションや極上のスイーツは言わずもがな、頭のおかしい芸術家、思想家たちの突飛なクリエーションに満ち溢れています。ぜひとも、自由と愛に満ちたフランス的な生き方の「流儀」に、触れてほしく思います。そこには人生のヒントがごろごろと転がっているはずです。

アンティエ・エマニュエル 教授

研究テーマ
言語文化教授法、異文化コミュニケーション

フランス語と日本語はかけ離れた言語です。しかし、かけ離れているからこそ魅力的です。母語とは全く異なる言語の世界を知ることは、自分の視野を広げることでもあり、自分自身を再発見することにもつながります。皆さんも、福大のフランス語学科のメンバーと一緒に、言語間の旅に出かけましょう。新しい自分に出会えるはずです。

井関 麻帆 准教授

研究テーマ
18世紀啓蒙文学（ルソー）

外国語を学ぶことは「発見」の連続です。フランス語を学習するとさまざまな疑問が湧いてきますが、答えを探していく過程で新しい文化に出合うことができます。さらに視野を広げてみると、フランス語圏であっても国や地域によって違いがあることに気付きます。例えば、フランスの国境を超えてスイスやベルギーに行くと、フランス語特有の数の数え方にも変化が生じます。また、皆さんが日常的に使っている「カフェオレ」というフランス語も、地域によって表現が異なります。これらの差異の由来を探ると、各地の文化や歴史が深く関わっていることが分かります。フランス語の学習を通して、言葉に内包される文化的要素や歴史的背景を「発見」する喜びと面白さを知ってもらえたら嬉しいです。

小池 美穂 准教授

研究テーマ
フランス・ルネサンスの思想・文学

あるフランスの詩人が「さまざまな料理の中で美味しいと思える料理があるならば、それはあなたが調理したもののようだ」と言っています。これの意味するところは、材料選び、レシピから旨味の出し方までその料理の極意を知っていれば、何も知らずに食べても美味しいものがさらに美味しく感じられるということです。フランス語学科はさまざまな「グルメ」を提供しますので、あなただけの「至極の一皿」、ぜひ見つけてください。Bon appétit!

村石 麻子 准教授

研究テーマ
現代フランス小説、比較文学

フランスのノーベル文学賞作家アルベール・カミュは、「創造すること、それは己の運命を形作ることでもある」と言っています。大学時代は、受け身でない自分自身の人生を切り拓くための準備期間です。学びも遊びも精いっぱい楽しむことで、自分を創る力を呼び覚まし、我々とともに自己研鑽を重ねていきましょう。

鈴木 美香 講師

研究テーマ
中南米やヨーロッパの移民・難民、在日外国人

人生は縁の巡り合わせから出来ており、授業で学んだことや学校で出会った人々が日々の生活や将来自分が行う選択に与える影響は決して小さくありません。フランス語学科でのフランス語やヨーロッパの文化についての学び、同級生や先生達と過ごす時間は皆さんのかけがえのない人生の財産になるはずです。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

比内 晃介 講師

研究テーマ
フランスにおける若者ことばの研究

大学での学びの醍醐味は、何といっても新しいことに果敢に挑戦すること、そして新しい自分を発見することだと思います。日本語や英語とは一味異なったフランス語という言語についての専門的な知識を学んだり、フランス語を通して外国の人々と交流したりすることで、これまで気づくことのなかった自分の隠れた興味や能力を一緒に発掘してみませんか。

中田 麻理 講師

研究テーマ
ジャン・ジュネ、ジェンダー論

ジェンダー、LGBT、クィアという言葉が使われ始めるよりも前、人々は自分の感情やアイデンティティをどのような言葉で表していたのかといったようなことを、文学作品を通して考えています。授業ではできるだけみなさんに興味を持ってもらいやすい内容を心がけていますが、いわば同じラインで生産していますので、私の授業にはBL、GL的な内容が少し多いかもしれません。

東アジア地域言語学科

Department of East Asian Studies

中国・韓国を中心に東アジア地域をとらえた学び。ボーダーレスに活躍できる人材を目指す。

中国や韓国をはじめアジアへの玄関口として発展を遂げた福岡。その福岡で、グローバルに活躍できるリーダーを育成することは本学の使命の一つであり、その一環として設置されたのが東アジア地域言語学科です。それぞれ中国や台湾と韓国・朝鮮を対象とした「中国コース」と「韓国コース」、いずれかに軸足を置きつつ、もう一方の科目も時間割の可能な範囲で自由に履修可能です。中国・韓国の言語や文化、地域事情を学ぶことで、東アジア地域で活躍できる人材を目指します。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、中国や韓国を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技　能	自らの視点で物事を考え説明することができる人
C	態度・志向性	東アジア地域で活躍する国際市民になることをめざし、その力を地域社会のために積極的に活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	主体的な活動により、英語や中国語・韓国語等の検定に合格した人や スポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人、または国際交流に積極的に参加した人

求める人材像（求める能力）の詳細は

東アジア地域言語学科での4年間

1年次　基礎教育

東アジア地域への広汎な理解

［主な科目］

- 中国・韓国学入門演習
- 中国事情概説
- 韓国事情概説
- 中国語入門
- 韓国語入門
- 中国語Ⅰ
- 朝鮮語Ⅰ

※中国語と韓国語の両言語を学ぶ

コースの選択
どちらの言語と地域を主とするか決定。

2年次　専門教育

地域を選択し専門性を深化

［主な科目］

中国コース
- 中国学基礎演習
- 中国言語文化概説
- 中国地域研究概説
- 中国語文献講読
- 中国語基礎
- アクティブ中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ

韓国コース
- 韓国学基礎演習
- 韓国言語文化概説
- 韓国地域研究概説
- 韓国語文献講読
- 韓国語基礎
- アクティブ韓国語Ⅰ
- 朝鮮語Ⅱ

時間割が許せば他コースの授業も選択可能。

3／4年次　専門教育・論文・就職

演習（ゼミ）を通じ考察力・応用力の強化

演習（ゼミ）とは、各自の問題意識にしたがい、自分の力で整理・解決・報告するための科目。各教員の専門領域にしたがって選択。

［主な科目］

中国コース
- 中国学演習Ⅰ
- アクティブ中国語Ⅱ
- 中国事情特講
- 中国言語文化特講
- 中国語表現法
- 中国学演習Ⅱ
- アクティブ中国語Ⅲ
- 中国事情講読
- 中国言語文化講読

韓国コース
- 韓国学演習Ⅰ
- アクティブ韓国語Ⅱ
- 韓国事情特講
- 韓国言語文化特講
- 韓国語表現法
- 韓国学演習Ⅱ
- アクティブ韓国語Ⅲ
- 韓国事情講読
- 韓国言語文化講読

- **東アジア相互理解演習**
  中国や台湾、韓国・朝鮮を視野に東アジアを想像し理解する
- **卒業論文**
  これがきちんと書けるのが「学士力」。企画書や報告書・調査書が書ける人材であることを示すもの。
  ※卒業論文は選択

交換・認定留学を考えるなら3年次がオススメ。

卒業後

高いレベルで身に付けた専攻言語の運用能力を生かし、東アジア地域で活躍できる人材へ

専門教育科目カリキュラム ›　学科公式ウェブサイト ›

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許（中国語・朝鮮語）
- 日本語教員

在学生の声

3年次生　塩田 桜子 さん
（長崎県 大村高校出身）

日本と東アジアから世界の捉え方を学ぶ。対話型授業で韓国語の会話に自信が付いた。

Q1 この学科の魅力は？

中国・韓国の言語をはじめ、文化や歴史、社会問題、日本との関係などを少人数授業で学べる点です。休学せずに交換留学に行けたり、日本語教員課程を取れたりとカリキュラムも充実しています。私は3年次から社会言語学のゼミに所属し、日本語と韓国語をミックスさせた若者言葉「ハンボノ」の研究に励んでいます。

Q2 好きな授業は？

グループやペアで韓国語の会話練習をする「コミュニケーション朝鮮語ⅡA」*です。リスニングやライティングは自主学習でも向上しますが、スピーキングは意識して取り組まないと上達しません。本授業では主に韓国語で話すため、アウトプットにより自然な表現や発音が身に付きます。留学生も参加する場合があるので、語学力の向上とともに、自信にもつながります。

私の時間割（3年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00					
10:40	韓国言語文化講読C	日本語学特講Ⅲ a	韓国事情講読C	東アジア相互理解演習A	
13:00	言語学概論A	コミュニケーション朝鮮語ⅡA*		韓国事情特講C	
14:40	東アジア各種言語講義B	日本語学特講Ⅰa		韓国学文献講読ⅡA	韓国学演習ⅠA
16:20		日本語教育法Ⅲ			

＊現在は後継科目を開講

卒業生の声

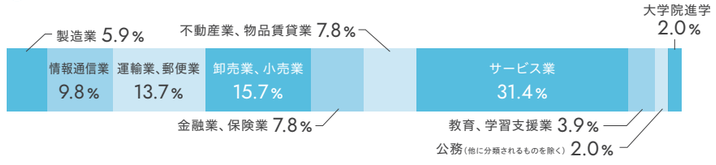
授業や上海研修で深まった異文化への理解。多文化共生の知見が国際都市東京で生かされている。

オープンキャンパスで中国語の面白さに惹かれ、日本語と中国語の二つの言語を使えたら自分自身の幅が広がるのではと思い、本学科に進学しました。授業は少人数で行われ、日本人とネイティブの先生方から丁寧な指導を受けられるので、学びに集中できる環境があります。1年次の夏に参加した上海研修を通して、中国語のスキルが向上するとともに、景色や文化・人々の温かさに触れ、中国への理解がより深まりました。実際に現地へ行き、自分の目で他国について考える機会に恵まれたことは、私にとって大きな出来事として刻まれています。

このような経験から多文化共生に興味が湧き、外国人を支援する仕事がしたいと思うようになりました。海外からの観光客や留学生が全国で最も多い東京へ行くことを決め、現在は東京都庁で「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」関連の資産管理や展示を担当しています。

上松 菜乃 さん（2023年卒業）
東京都庁

主な就職・進路先（2024年度卒業生実績）



●人文学部の主な就職先は 53ページ

恵まれた留学・研修プログラム

●本学に授業料を納めた上で「交換留学」「認定留学」の制度を利用した場合、留学先で履修した科目は、一定の条件を満たすことで単位認定されます。
そのため、半年または1年間の留学期間を含め、4年間で卒業することが可能です。
●多くの学生が3年次に留学します。

交換留学制度	［ 本学と交換留学制度のある協定大学（2025年時点） ］ 中国・台湾　華東師範大学（上海）／揚州大学／広州大学／烟台大学／中央財経大学（北京）／黒龍江大学 輔仁大学（台北）／高雄大学　など 韓国　成均館大学校（ソウル）／国民大学校（ソウル）／慶熙大学校（ソウル）／仁川大学校／ 釜山大学校／釜山外国語大学校／東義大学校（釜山）／慶南大学校（昌原）／蔚山大学校／慶北大学校（大邱）／ 啓明大学校（大邱）　など ［ 実績 ］ 2018年度交換留学 … 29人（韓国25人、中国・台湾４人）　※コロナ禍前
認定留学制度	交換留学制度のような留学援助金の支給はなく、留学先の授業料も自己負担となりますが、 半年または1年間の留学中に取得した単位を本学の単位に認定する制度です。
短期研修	韓国・蔚山大学校 夏期研修 ／ 中国・揚州大学 春期研修

韓国

岡野 知奈美さん（仁川大学校）

最初は期待よりも不安な気持ちが大きくて心配でしたが、実際に生活していくうちにそんな心配もなくなりました。あっという間に1年が過ぎ、とても有意義な留学生活となりました。
また、留学を通して、目標であった語学力向上という目標を果たし、自分自身が成長することができました。
たくさんの大切な友達ができ、困った時には親身に手伝ってくれたり、色々な場所に連れて行ってくれたり、とても良くしてくれたことが記憶に残っています。

池松 雅史さん（国民大学校）

実際に韓国で生活してみて、日本での生活とは違う点が多くさまざまな経験をすることができました。
言語の面では初め苦労しましたが、授業を受けるにあたって予習復習などをし、また友達をたくさん作ることで言語能力の向上に努めました。他の国の友達もたくさんできました。
異国で生活をする事で苦労することもありましたが、そこで自分でどのようにするべきか考えることで、自分自身の成長にもなりました。

古賀 梨華子さん（釜山大学校）

釜山大学校の魅力は留学生向けの授業が多いことです。韓国人学生だけではなく、さまざまな国籍の人たちと授業を通して交流することができました。また、釜山について学ぶ授業もありました。釜山の歴史や文化を実際に跡地や観光地を巡って学んだり、グループで野外活動をして発表したりしました。
授業以外では、PNUFという釜山大生と交流するサークルと卓球サークルに所属し、学校外でもご飯を食べに行ったり、カラオケに行ったりしました。大学の周りは学生街なので、にぎやかなのも良かったです。

増本 詩織さん（釜慶大学校）

釜慶大学校は外国人留学生がたくさんいるということもあり、留学生へのサポートが充実していました。留学生をサポートしてくれる学生団体や毎学期行われる韓国文化体験、留学生用の授業もたくさんありました。留学生への環境が整っていたので不安なく充実した留学生活を送ることができ、私の人生の中で一番濃い1年間を過ごすことができたと思います。
また、この留学経験を通して自分の意見をきちんと言えるようになり、以前よりも積極的な性格になりました。私にとって韓国留学は韓国語の上達だけではなく、性格的にも変われるきっかけになりました。

遠座 未来さん（蔚山大学校）

初めは不安も大きかったですが、蔚山市内見学や国際交流サークルなどもあり、楽しく過ごせました。留学生向けの授業も多く開講されていました。語学堂もあるので十分に韓国語を勉強でき、さまざまな国の友達もできました。
勉強も大変でしたが、休みの日には遊びに行くという充実した留学生活を過ごすことができました。旅行で行くのとは違う留学生活で、視野も広くなりました。留学生活を生かし、これからも勉強していきたいです。

松永 佳太さん（培材大学校）

留学は半年間だったのですが、半年間で多くのことを学ぶことができました。授業で韓国語を学び、サークルでは文化、習慣を学び、韓国人の友達と遊びに行くと、最近の流行りや流行語などを知れるなど、本当に多くのことを知り、体験することができました。
半年間という、普通の1年留学と比べると短い期間の留学でしたが、親切な大学の友達や先生方と共に、とても充実した大学生活を送ることができました。

松本 萌乃さん（慶熙大学校）

慶熙大学校には大学が管理する国際交流サークルがあり、サークルを通して韓国人はもちろん、世界中の留学生と仲良くなることができました。
韓国人と交ざって受ける授業はついていくのが大変で、何度も挫折しそうになりました。しかし、「やるしかない」という状況だったので必死に乗り越えて、とても貴重な経験になりました。
慶熙大学校の周りは飲食店も多く、夜も人通りが多かったので住みやすかったです。

中国・台湾

田口 祐希さん（揚州大学）

私は留学する前年に、短期研修で揚州大学に来て揚州の環境や大学を気に入ったことと、揚州大学にHSK（中国語検定）対策を中心とした授業があるため、ここを選びました。
最初の3カ月間は中国語が聞き取れず、授業についていくだけでも苦労しました。その後中国語が分かってくると、授業に積極的に参加できるようになり、遠足やスピーチ大会などのさまざまな行事を通して中国人、外国人留学生を問わず仲良くなることができました。
私は人見知りをする性格でしたが、この留学を通して自分の価値観や考え方が変わったと感じています。

太田 梨沙さん（広州大学）

私が留学することを選んだのは、中国語を学びたいというだけではなく、弱い自分を変えたいと思ったからでした。
新しい環境にとびこんで生活するのは、はじめは大変でした。だけど人は不思議なもので、ゆっくりですが慣れていきます。日本にいるときは思いもしなかったこと、留学してから気付いたことがたくさんありました。
実際に留学するのは簡単なことではないと思いますが、現地でいろいろな経験をすることで、それが自分の自信へとつながっていくと思います。せっかくのチャンスなので、興味がある方はぜひ挑戦してみてください。

増永 奈央さん（輔仁大学）

台湾の輔仁大学の授業はグループ学習が多々あるため、台湾人の友達を作りやすいです。
また、さまざまな国の留学生と中国語を学ぶ授業もあります。テーマを設定して討論をする機会が多くあり、私は最初、自分の意見を中国語で伝えることが苦手でした。しかし周りの留学生から刺激を受けて、負けたくないという思いで毎日勉強に励むうちに、相手を説得できる意見が言えるようになりました。このような環境で互いに高め合いながら授業に臨めたことを、うれしく思います。
1年間はとても充実していて、留学に行って良かったと心から思います。

学科行事年間スケジュール

※近年のスケジュールを踏まえて作成してあります。
状況に応じて、追加・変更があります。

4月
- フレッシャーズセミナー（1年次生）
  新入生と教員・在学生が参加
- 科目登録／前期開始

5月
- 交換留学選考出願

6月
- 韓国・高麗大学校との学生交流会
- 特待生表彰式／保護者懇談会

7月
- 前期終了／定期試験

8月
- ゼミ合宿
- オープンキャンパス
  教員と在学生による高校生向け学科案内
- 韓国・蔚山大学校研修
- 上海財経大学との交流会（オンライン）

9月
- ゼミ旅行
- 後期開始
- 中国・広州大学とのEタンデム学習開始

10月
- コース分け決定（1年次生）
  2年次から中国コースに進むか、韓国コースに進むかを決めます。
- 韓国・檀国大学校との学生交流会

11月
- ゼミ分け決定（2年次生）

12月
- キャリアアップセミナー（4年次生の報告）・先輩と語る
  3年次生向けの就職支援セミナー。就活に向けて社会人や
  4年次生内定者からのアドバイスを聞きます。
- 卒業論文提出（4年次生）

1月
- 後期終了／定期試験
- 卒論口頭発表会・口頭試問（卒論提出者4年次生）

2月
- 中国・揚州大学研修

3月
- 卒業式
- 合同ゼミ研修（2年次・3年次生）

東アジア地域言語学科

教員・研究の紹介

東アジア地域言語学科に所属している教員をご紹介いたします。 ※2025年4月1日現在

あんどう じゅんこ
安藤 純子 教授

専門分野
「日韓・日朝関係」

「『木を見て森を見ず』とはならないように」――私が学生時代、日韓・日朝関係を学ぶ際に指導教員から言われたことです。日韓・日朝間の問題に対しては、つい感情的になったり、問題の歴史や背景を見ずに考えてしまいがちです。それでは問題の本質は見えてきません。日韓・日朝間の問題に限らず、何事においても「森」全体を見ることを心がけてみてください。それから、どんな事でもいいので大学在学中に打ち込めることを見つけてください。それはきっと大学卒業後も大きな心の支えとなるはずです。

いぶし けいこ
伊伏 啓子 准教授

専門分野
「中国語学」「東西言語文化交流」

私の専門は中国語学です。特に、近代の中国語の語彙や語法の変化について、当時中国にやってきたキリスト教の宣教師や西洋で中国研究を行っていた中国学者の資料を用いて研究しています。大学時代に中国語と出合い、中国や台湾の留学生と友情を深めながら、楽しく学んできました。その後、思いがけず中国語を通して欧米にも広く繋がりを持てるようになり、現在に至っております。失敗を重ねながら、中国語でコミュニケーションを取る楽しさをぜひ皆さん一緒に味わいましょう。

おおさわ たけし
大澤 武司 教授

専門分野
「中国近現代史」「日中関係」

私は中国近現代史、中でも戦後日中関係を専門としています。中国が「大国化」する中、日本は中国と政治・経済・文化・安全保障など、さまざまな領域において「双贏」(ウィン・ウィン)の関係を築いていかなければなりません。そのためには相手と自分たちの間のこれまでの関係(歴史)を知ることが大前提となります。現在と将来の日中関係を客観的に分析する力をつけるため、歴史という視角から中国を学び、一緒に中国理解を深めていきましょう。

おがた よしひろ
緒方 義広 准教授

専門分野
「日韓関係」「現代韓国社会」

現地に長く住み、韓国社会や日韓関係について身をもって学び、考えてきました。専攻は政治学ですが、韓国社会や日韓関係を考えるのにその歴史的・文化的背景を理解することの重要性を感じています。私にとって、大学時代の韓国留学は人生のターニングポイントになりました。日韓をめぐるさまざまな話題、問題について、皆さんと一緒に考え学び、大学での時間が、皆さんのこれからに重要な意味をなすよう応援していきます。

か おくこう
何 憶鴿 講師

専門分野
「中国近現代文学」

専門は中国近現代文学です。近年はジェンダーの視点から1980年代、1990年代の文学を研究しています。特に関心を持っているのは1990年代末に一大ブームを巻き起こした「小資(プチブル)文学」と呼ばれる作品群とそれをめぐる一連の文化現象です。中国近現代文学は読みにくそう、身近ではないと思っている人が多いかもしれませんが、現代都会を舞台とする「小資文学」においては、現代に生きる我々が共通して抱えている葛藤が描き出されていると思います。中国現代文学・文化研究の入り口として、「小資文学」に触れてみてはいかがでしょうか。

しゃ へい
謝 平 教授

専門分野
「中国語学」「中国語教育学」
「日中対照言語学」

大学時代は文学が大好きでしたが、日本語を勉強し始めてから母語である中国語の特徴や仕組みについて深く研究しようと思うようになりました。今は現代中国語の語順について調べております。世界人口の5分の1もの人々が中国語を使っています。多くの方とコミュニケーションをとれるように、是非中国語を楽しみながら勉強しましょう。

じゅ ひょんじゅ
朱 炫姝 准教授

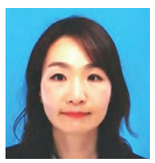
専門分野
「韓国語教育」「認知語用論」

実践的な言語運用能力を高める教育方法を探求し、ICTを活用した教授法や実践活動に取り組んでいます。また、場面や状況、相手によって表現がどのように変化するのかについても研究しています。例えば、日本では「肉まん」と「豚まん」の呼び方が地域によって異なるように、韓国語でも「ジャガイモ(감자)」と「さつまいも(고구마)」の呼称が地方によって逆になることがあります。こうした違いの背景には文化的な要因があり、言語を学ぶことで、その国の文化や独自の考え方、コミュニケーションの特徴を理解できると考えています。学ぶことは、新しい世界を広げる第一歩です。焦らず、自分のペースで挑戦を続けてください。皆さんの未来が明るく輝くことを願っています。

しんざと よしのぶ
新里 喜宣 准教授

専門分野
「韓国宗教文化」「宗教学」

私が韓国語に関心を持ったのは日韓ワールドカップ(2002年)からであり、現在の専門である韓国の宗教文化への関心は、大学でのゼミが大きな契機となりました。ある意味ではいろいろな偶然が重なっていまの私がありますが、それらは私にとって、とても貴重な「偶然」でした。皆さんも大学生活で色々なことを経験し、その中で人生の宝物となる「偶然」に遭遇してもらいたいと思います。



ゆん すうみ
尹 秀美 准教授

専門分野
「社会言語学」「日韓対照言語学」

大学で初めて日本語を学び、私が一番好きになった言葉は「どうぞ」です。依頼、祈願や承諾などいろいろな場面で使われますが、私は相手に何かを勧めたり、頼みごとを承諾したりする時の「どうぞ」が好きです。この「どうぞ」には、短い言葉で人を思いやる日本人の心が象徴的に表れているように見えます。大学の4年間、韓国や中国の好きな言葉と、その言葉に隠れているものをたくさん見つけてください。

りゅう ちゅんひ
柳 忠熙 准教授

専門分野
「韓国・朝鮮文学・思想」

私の専門は韓国・朝鮮の文学と思想です。特に、近代東アジアにおける知識人と社会の変化を考えながら、韓国・朝鮮の知識人の思想と文化について研究しています。皆さんは大学で何を学びたいのでしょうか。皆さんの多くは、大学での生活を、就職など、将来を準備することとして想像しているかもしれません。ところが、大学は、皆さんの将来の準備をするところであると同時に、皆さんが人々と共に生きていく教養を学び、社会を見る自分なりの観点を育てるところでもあります。この文章を読んでいるあなた、東アジアの文化・歴史・言語という視点から世界を考える教養と観点を、一緒に学んで育ててみませんか。

多彩な学習 ―これまでの実績

中国コースの実績

■上海財経大学との交流活動

2019年9月には、3泊4日の日程で1～4年次生、40人の学生が上海財経大学を訪れ、交流活動を行いました。現地では、学科の学生と教員が日本語字幕をつけた映画作品を上映し、中国の学生たちと中国語や日本語を使って意見交換を行いました。また、小グループに分かれて上海の街を散策し、実際に中国語を使ってみるなど、中国語学習の強い動機づけになる貴重な経験となりました。

■インターネットを利用したタンデム学習

2019年度から広州大学外国語学院の協力をいただき、オンライン経由のタンデム学習プロジェクトを実施しています。タンデム学習とは、母語の異なる2人がペアになり、それぞれの言語や文化を互いに学び合う学習形態です。学生の中国語レベルに応じてコーディネーターがペアリングを行い、学生自身が学習計画(日程・内容・方法など)を相談しながら決めることで無理なく学習を進められます。コロナ禍以降、海外渡航をせずとも有効な中国語能力向上の機会となっています。

〈例〉
日本語話者と中国語話者のタンデム学習(1時間半の場合)

5-10分…	振り返り	
35分…	それぞれの学習活動	中国語学習
35分…		日本語学習
5-10分…	次回の計画	

韓国コースの実績

■高麗大／檀国大との交流会

2023年6月には高麗大が、11月には檀国大が福岡を訪問しました。高麗大の先生から韓国文学に関する講義を聞き、日韓の学生が一緒に感想を述べ合ったり、檀国大の学生たちとは韓国社会や日韓関係について、それぞれの立場から議論を行うなどしました。行事終了後にはキャンパスを案内し食事会も行いましたが、日頃から学んできた語学力を生かし大いに盛り上がりました。

檀国大との交流会

■福大韓国学シリーズ(講演会)

2018年より福大韓国学シリーズの一環として学生や一般人向けの講演会を行ってきました。講演会では、日本国内そして韓国の専門家をお招きし、授業ではあまり接することができない、韓国そして日韓関係に関わる話を聞くことができます。これまでの講演では、韓国の文学と言語空間、現代韓国の民主主義、現在の日韓関係、在日コリアンの問題などのテーマを扱いました。

第2回福大韓国学シリーズ(講演会)の様子

※東アジア地域言語学科について、
詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。 ›

各種課程教育情報

**博物館学芸員、社会教育主事、日本語教員、教職の4課程を開設。
将来の可能性を大きく広げる資格・免許の取得と同時に、
それぞれの実践のスキルを身に付けていきます。**

人文学部では博物館学芸員課程、社会教育主事課程、日本語教員課程、教職課程の4課程を開設し、学生の資格・免許の取得を積極的に支援しています。これらの資格・免許は実務に直結しており、各職に就くことを目指す学生が毎年、数多く履修します。

また、これらの資格・免許の取得に必要な単位は、基本的に各学科の卒業要件単位とは別に修得するため、履修する学生たちには高い意欲が求められ、その切磋琢磨も有意義といえるでしょう。

博物館学芸員課程

人文学部 文化学科および歴史学科

学芸員は、博物館(美術館・歴史資料館など)において、資料の収集や保管、調査研究、展示などを専門的に行います。人文学部では、文化学科と歴史学科に学芸員を養成する課程を設けています。学芸員の資格を取得するためには各学科の卒業に要する単位の他に、博物館に関する科目の規定単位を修得することが必要です。

■ 博物館に関する科目 ※2025年度入学生適用

[必修科目]
- 博物館概論
- 博物館経営論
- 博物館資料論
- 博物館資料保存論
- 博物館展示論
- 博物館情報・メディア論
- 博物館教育論
- 生涯学習概論A
- 博物館実習Ⅰ・Ⅱ

[選択科目]
- 歴史学資料論A・B
- 日本の文化と歴史A・B・C・D
- 西洋の文化と歴史A・B・C・D
- 東洋の文化と歴史A・B・C・D
- 日本美術史
- 日本美術論
- 西洋美術史
- 西洋美術論
- 考古学概説A・B
- 考古学方法論A・B(含、実習)
- 考古学特講A・B・C・D
- 文化財学概論A・B
- 文化人類学特講
- 社会人類学
- 文化地理学
- 社会地理学
- 民俗文化論

社会教育主事課程

人文学部 文化学科および教育・臨床心理学科

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会に置かれる社会教育の専門的教育職員です。この社会教育主事課程では、学校教育以外で行われる青少年教育、成人教育、高齢者教育などの社会教育を行う人たちへ、専門的かつ技術的な助言と指導を与える専門職員の育成を目的としています。人文学部では、文化学科と教育・臨床心理学科にこの課程を設けています。本課程の修了者は「社会教育士(養成課程)」と称することができます。なお、社会教育主事の資格を取得するには、社会教育に関する科目の規定単位を修得した後、さらに1年以上の社会教育主事補の業務経験が必要です。

■ 社会教育に関する科目 ※2025年度入学生適用

[必修科目]
- 生涯学習概論A・B
- 生涯学習支援論A・B
- 社会教育経営論A・B
- 社会教育演習A・B
- 社会教育実習

[選択科目]
- 博物館概論
- 博物館資料論
- 博物館教育論
- 生涯スポーツ論
- 生涯スポーツ実習
- 博物館情報・メディア論
- 社会調査実習
- マス・コミュニケーション論
- 教育の原理・課程論
- 教育心理学
- 道徳教育論
- 日本美術史
- 日本美術論
- 西洋美術史
- 西洋美術論
- 社会福祉論
- 労働と法制度
- 地域教育デザイン演習
- 教育学概論 Ⅰ・Ⅱ
- 教育人間学
- 人間形成論
- キャリア教育論
- 発達心理学
- 福祉心理学
- 教育思想論
- 教育社会学

日本語教員課程

人文学部

国際化が進展し世界各国の日本への関心が高まる中、わが国では日本の伝統的文化と日本語の本質・特色を理解した上で、外国人に日本語を教育する人材がますます求められるようになってきました。この社会的要請に応えるため、本学では、人文学部に日本語教員として適格な人材を養成する日本語教員課程を設けています。この課程を履修し、必要な単位を修得した者には、本学所定の修了証が授与されます。

なお、国家試験である登録日本語教員になるには、日本語教員試験の基礎試験および応用試験に合格し、登録実践機関での実践研修を修了することが必要です。

■ 日本語教員に関する科目 ※2025年度入学生適用

[必修科目]
- 日本語学概論 Ⅰ・Ⅱ
- 日本語史 Ⅰ・Ⅱ
- 日本語教育法 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 日本語教授法演習 Ⅰ・Ⅱ
- 社会言語学特講
- 心理言語学特講

[選択科目]
- 日本語学特講 Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb・Ⅴa・Ⅴb・Ⅵa・Ⅵb
- 日本文学概論 Ⅰ・Ⅱ
- 日本文学史 Ⅰ・Ⅱ
- 日本の文化と歴史A・B・C・D
- 言語学概論A・B
- 英語学入門
- ドイツ語学概論A・B
- フランス語学概論A・B
- 中国言語文化概説B(言語)
- 韓国言語文化概説B(言語)

教職課程

中学・高等学校の教員を志望する学生のために、本学では教職課程を設けています。各学科の卒業に要する単位の他に、教員免許状の取得に必要な教職課程科目の単位を修得することが必要です。

人文学部および大学院研究科で取得できる教員免許状は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語の外国語の他、社会・地理歴史・公民・国語があります。また、小学校教諭免許状取得プログラム(※)に参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位を在学中に修得することも可能です。

※教職課程受講料以外に費用が別途必要。

■ 教職課程開講科目 ※2025年度入学生適用

- 教職概論
- 教育制度論
- 教育行政学
- 教育法規
- 教育心理学
- 特別支援教育論
- 道徳教育論
- 総合的な学習の時間と特別活動の指導法
- 教育方法とICTの活用
- 生徒指導論(進路指導を含む。)
- 教育相談
- 教育実習事前・事後指導
- 教育実習Ⅰ
- 教育実習Ⅱ
- 養護実習事前・事後指導
- 養護実習
- 教職実践演習
- 生涯学習概論A
- 生涯学習概論B
- 人権教育
- 教育福祉論
- 教科教育法　他

■ 取得できる教員免許状の種類と教科

[学部]　2025年度入学生適用

学　科		免許状の種類および教科		
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の免許状
文化学科		社会	地理歴史・公民	–
歴史学科				
日本語日本文学科		国語	国語	
教育・臨床心理学科		社会	公民	
英語学科		外国語(英語)	外国語(英語)	
ドイツ語学科		外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
フランス語学科		外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
東アジア地域言語学科	中国コース	外国語(中国語)	外国語(中国語)	
	韓国コース	外国語(朝鮮語)	外国語(朝鮮語)	

[大学院]　2025年度入学生適用

専　攻	免許状の種類および教科		
	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	その他の免許状
史学	社会	地理歴史	–
日本語日本文学	国語	国語	
英語学英米文学	外国語(英語)	外国語(英語)	
独語学独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
仏語学仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
社会・文化論	社会	公民	
教育・臨床心理			

人文学部の
主な就職先 (2022年度～2024年度)

建設業
- 積水ハウス(株)
- 大和ハウス工業(株)

製造業
- TOPPAN(株)
- コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- YKK　AP(株)
- TOTO(株)

電気・ガス・熱供給・水道業
- 九州電力(株)

情報通信業
- 楽天グループ(株)
- Qsol(株)
- (株)ゼンリン
- 富士ソフト(株)
- (株)インターネットイニシアティブ
- ソフトバンク(株)

運輸業、郵便業
- 全日本空輸(株)
- 日本航空(株)
- ANA福岡空港(株)
- (株)JALスカイ九州
- 西日本鉄道(株)

卸売業、小売業
- 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
- 西部ガスエネルギー(株)
- (株)あらた
- ヤマエ久野(株)
- (株)岩田屋三越

金融業、保険業
- (株)西日本シティ銀行
- (株)福岡銀行
- みずほ証券(株)
- 日本生命保険(相)

不動産業、物品賃貸業
- 三井不動産リアルティ九州(株)
- 福岡国際空港(株)

学術研究、専門・技術サービス業
- (株)西鉄エージェンシー
- アクセンチュア(株)
- サントリーホールディングス(株)
- 東洋製罐グループホールディングス(株)

宿泊業、飲食サービス業
- (株)星野リゾート

生活関連サービス業、娯楽業
- (株)Plan・Do・See
- (株)エイチ・アイ・エス
- (株)JTB

教育、学習支援業
- 福岡県教員(中学校)
- 福岡県教員(高校)
- 佐賀県教員(中学校)
- 福岡市教員(小学校)
- 福岡市教員(中学校)

医療、福祉
- 日本年金機構

複合サービス事業
- 日本郵便(株)

公務(他に分類されるものを除く)
- 国家公務員一般職
- 裁判所事務官総合職
- 法務省専門職員(人間科学)
- 東京都庁
- 福岡県庁
- 福岡市役所

など